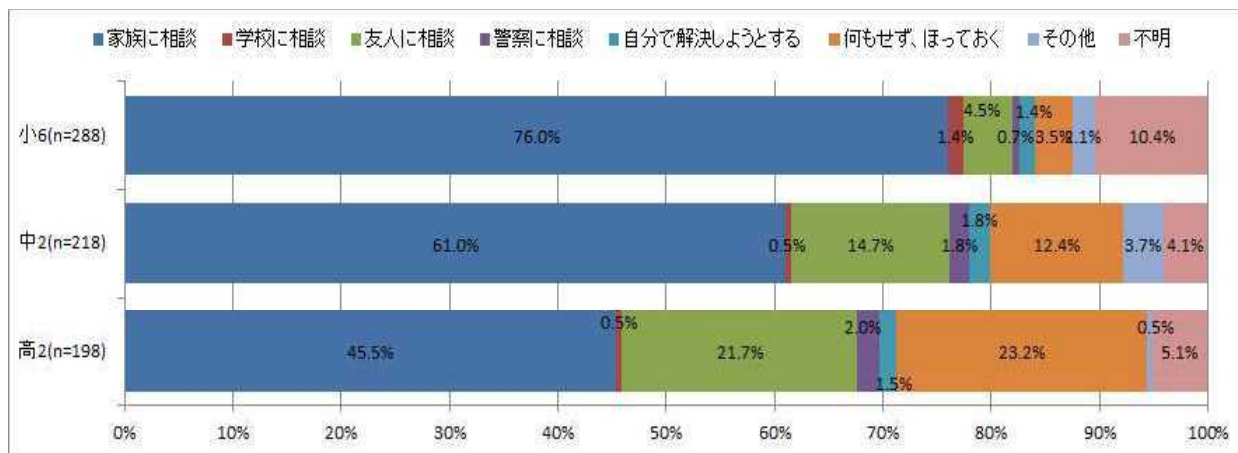


【児童・生徒】Q22. パソコンを利用して、困った事や嫌な事があったとき、どうしますか。

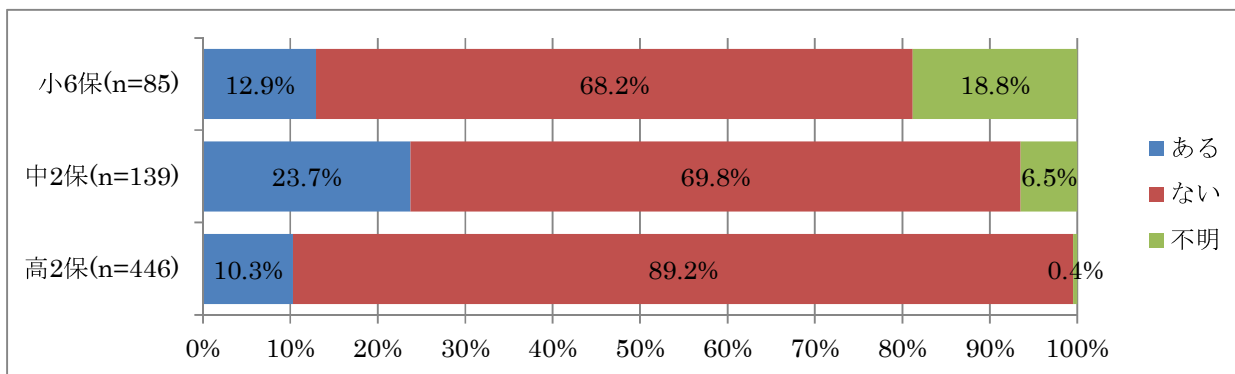


<パソコンでのトラブルへの対応について>

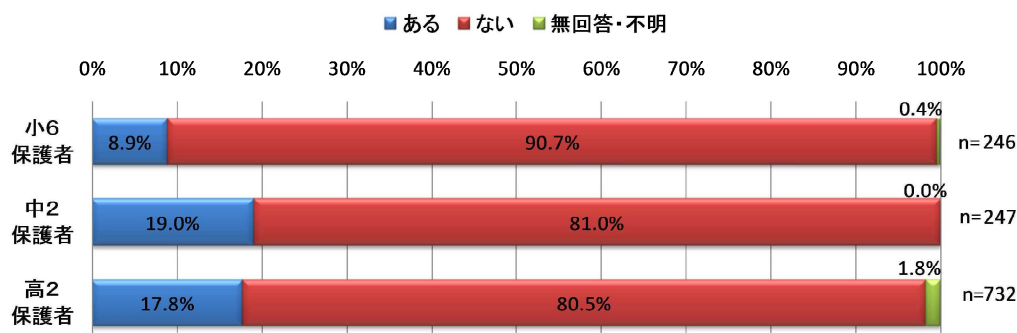
・ケータイ（スマホ）に比較すると、「家族に相談」が多く、「何もせずほっておく」が少ない。これはパソコンが家族との共用の場合が多いからではないかと思われる。

(3) トラブルについて、子どもから親への相談について

【保護者】Q26. あなたはこれまでに、お子様からケータイ（スマホ）でのトラブルについて相談を受けたことがありますか。



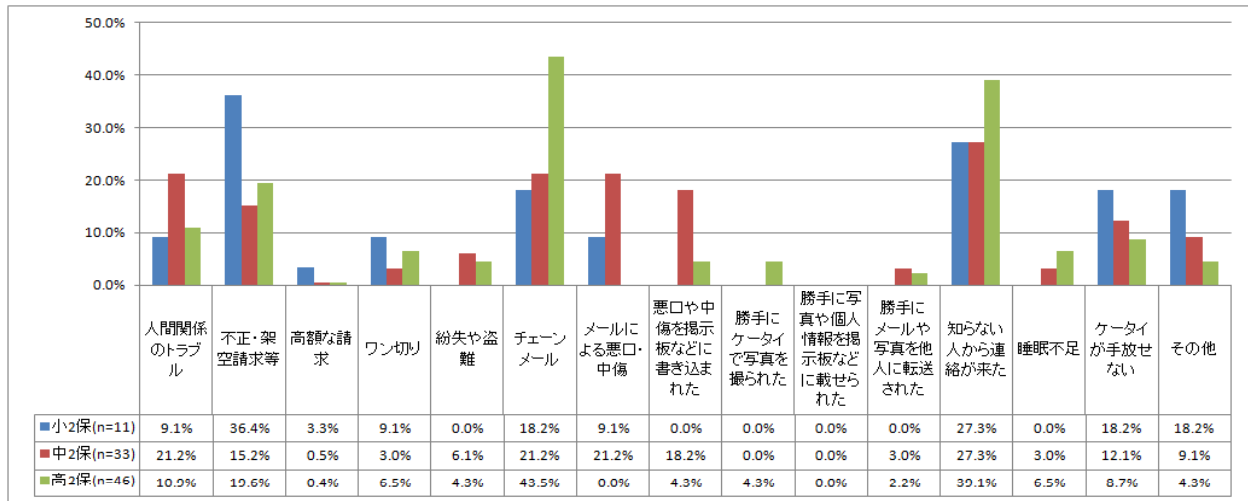
<H21(2009)との比較>



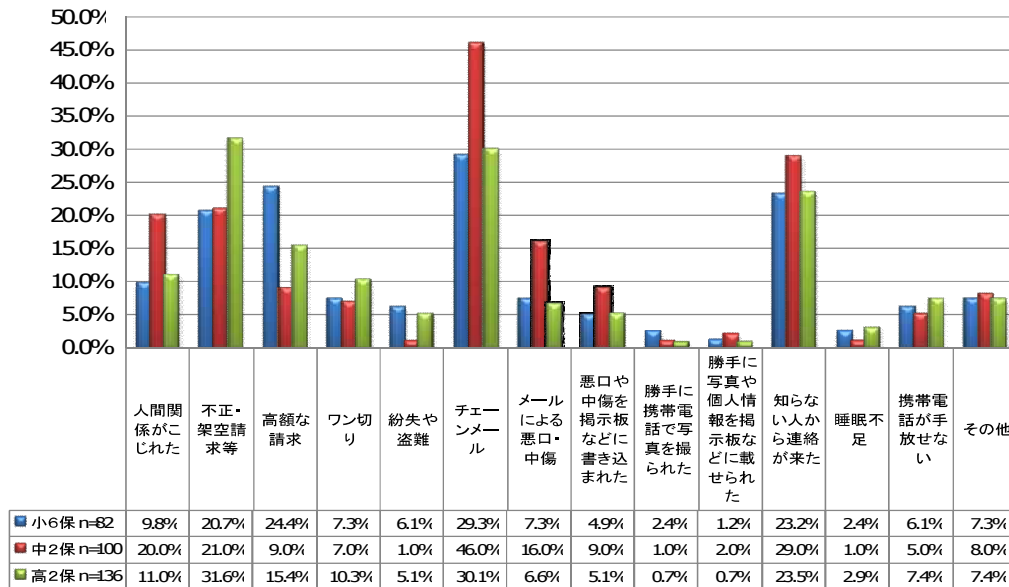
<子どもから保護者へのトラブル相談について>

・前回調査（平成21年度）と比較すると、小6と中2は、子どもからトラブルについて相談を受けたことがある割合が増えており、高2では減っている。小6と中2で、親への相談が増えているのは良い傾向であるが、トラブルにあう児童生徒が増えたからとも考えられる。

【保護者】Q27. あると答えた方は、その相談内容は何に関することですか。



<H21(2009)との比較>



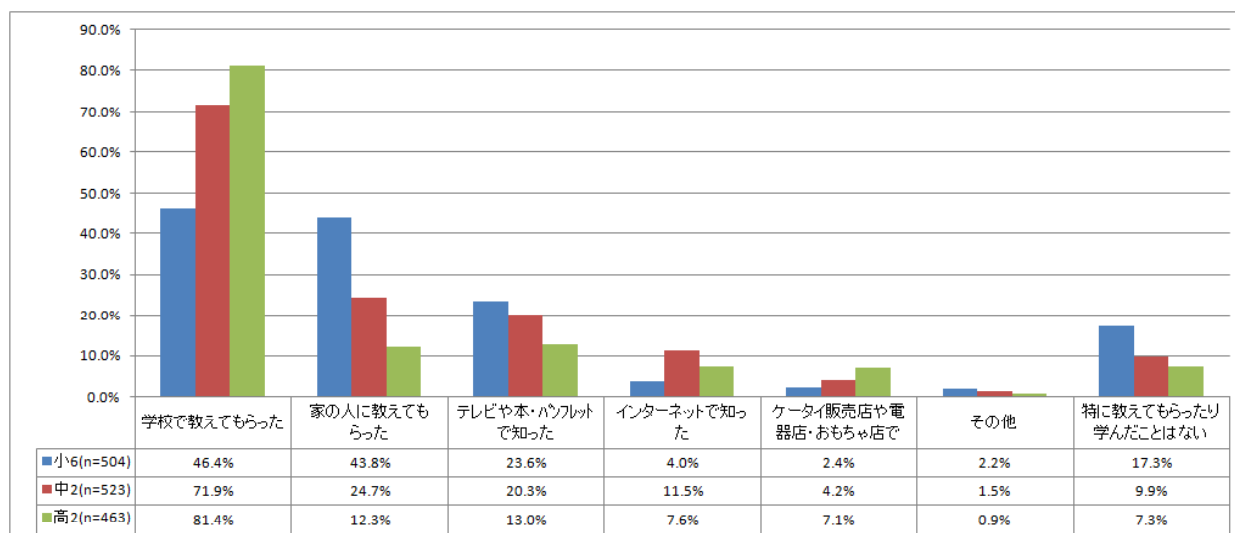
<相談内容について>

・小6では、「不正・架空請求等」が最も多く、「知らない人から連絡が来た」「チェーンメール」「ケータイ（スマホ）が手放せない」と続く。中2では、「知らない人から連絡が来た」が最も多く、「人間関係のトラブル」「チェーンメール」「メールによる悪口・中傷」と続く。高2では、「チェーンメール」が最も多く、「知らない人から連絡が来た」「不正・架空請求等」「人間関係のトラブル」と続く。これらの学年による違いは、使用内容の違いによると考えられる。

10 情報モラル学習

(1) 情報モラル学習について

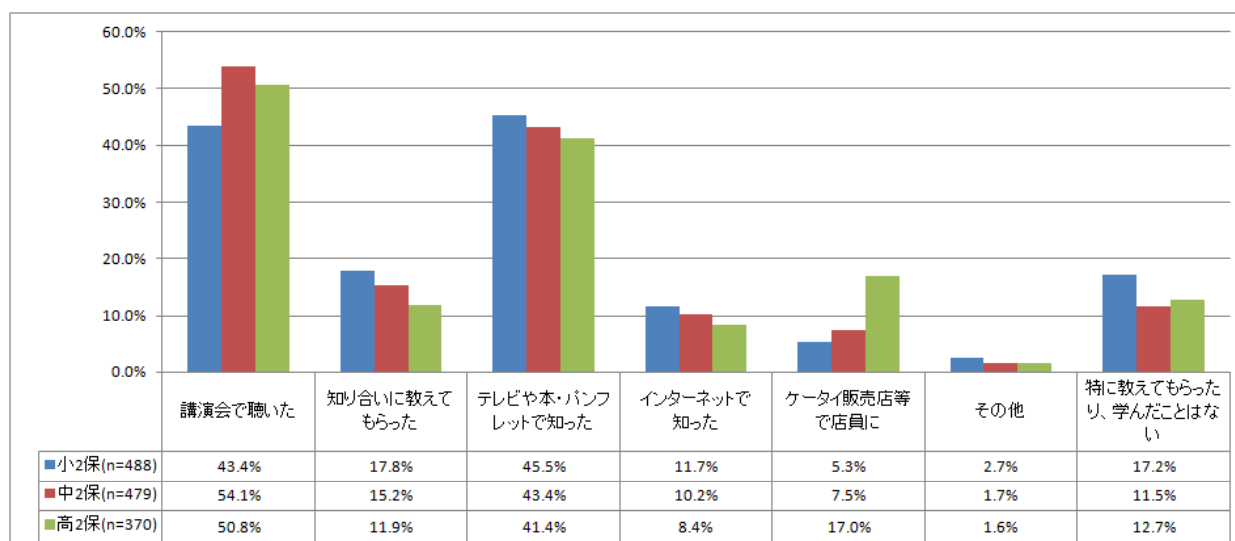
【児童・生徒】Q27. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだことがありますか。



<情報モラル学習について（児童生徒）>

- ・インターネットの危険性について、「学校で教えてもらった」と回答した児童生徒は、小6で46.4%、中2で71.9%、高2で81.4%である。一方、「家の人に教えてもらった」と回答した児童生徒は、小6で43.8%、中2で24.7%、高2で12.3%である。
- ・情報モラルの学習の機会は、小6では「学校」と「家庭」がほぼ同じ状況であり、中2・高2では「学校」が中心となっている。
- ・新学習指導要領で「情報モラル」が必修となっているなか、「学校で教えてもらった」と回答した小6の児童は半数にとどまっている。

【保護者】Q28. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだことがありますか。

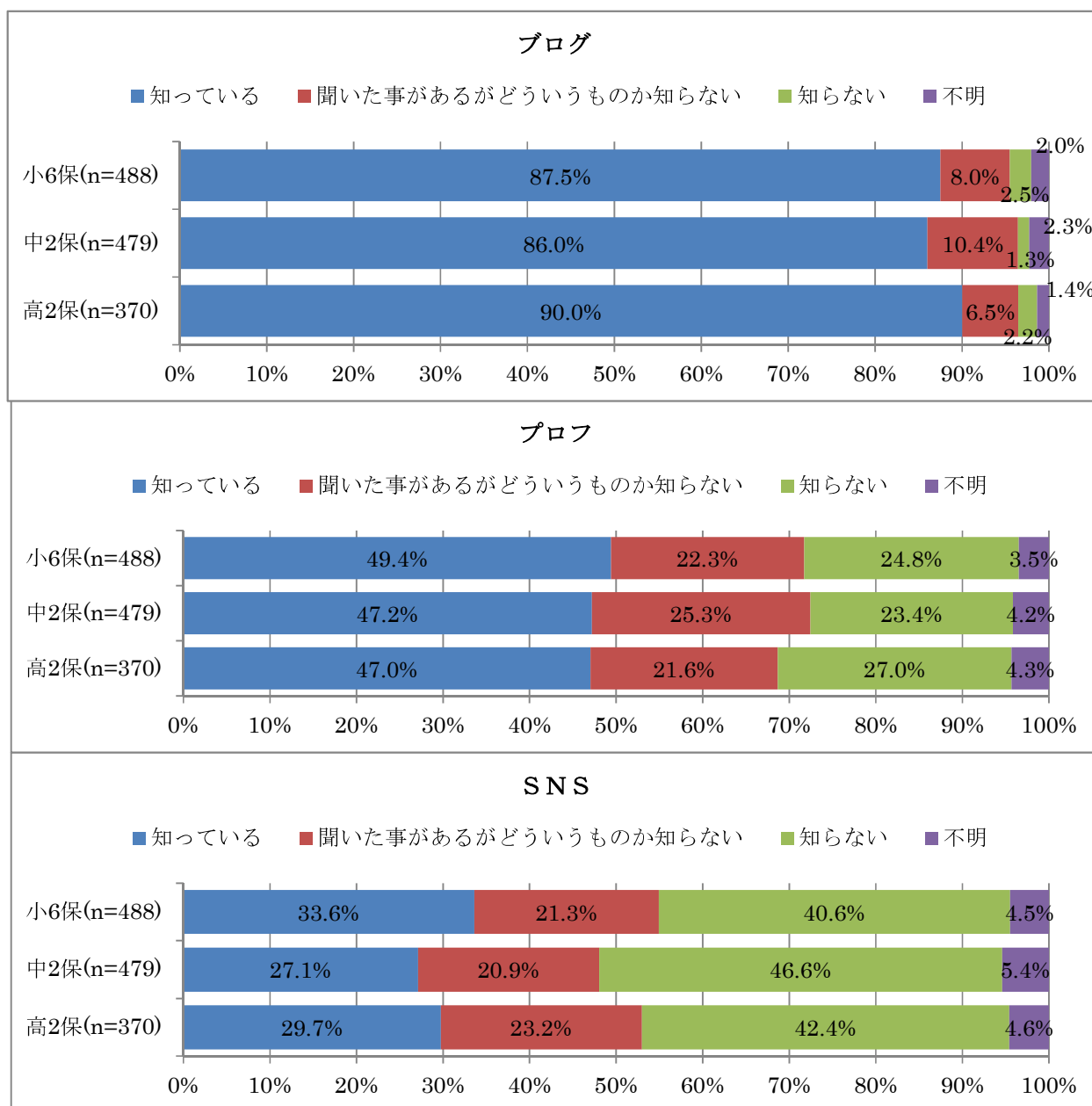


<情報モラル学習について（保護者）>

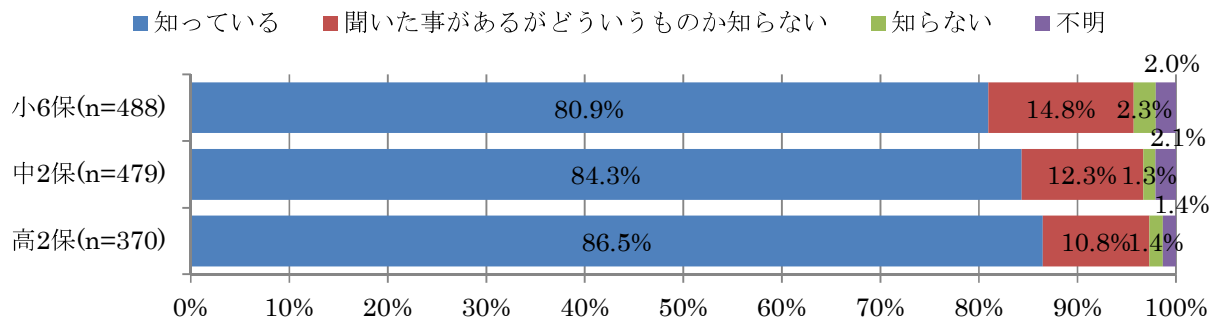
- ・インターネットの危険性について学んだ機会は、多い順に、小6の保護者では、「テレビや本・パンフレット」「講演会」「知り合いから」、中2では、「講演会」「テレビや本・パンフレット」「知り合いから」、高2では、「講演会」「テレビや本・パンフレット」「ケータイ販売店等で店員から」となっている。
- ・「講演会」で学んだのは半数程度であり、「特に教えてもらったり、学んだことはない」が1割～2割あることから、PTA等の研修会等を利用し、一層教育啓発することが必要である。

（2）機器や機能、情報モラルに関する知識について

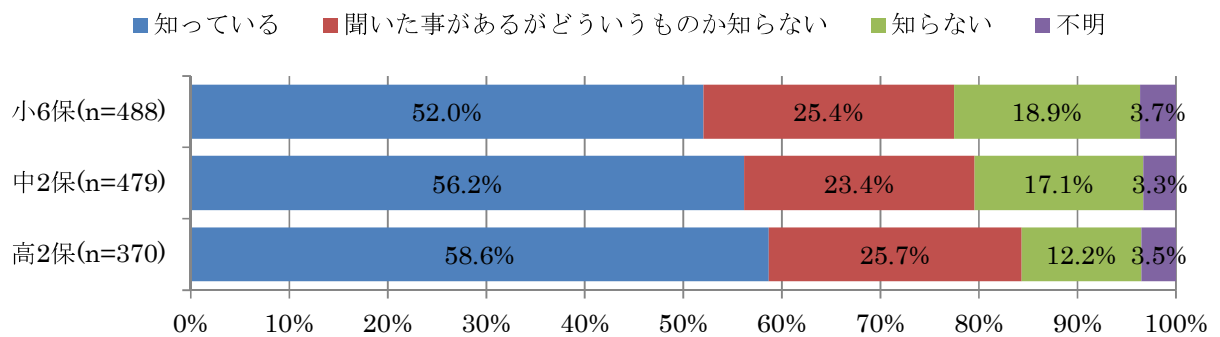
【保護者】Q25. あなたは、インターネットやケータイ（またはスマートフォン）、ゲーム等に関する以下の言葉の内容を知っていますか。



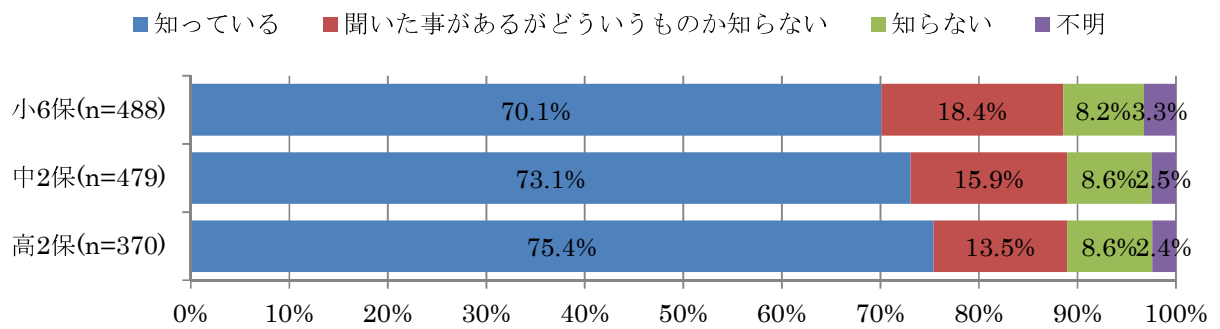
出会い系サイト



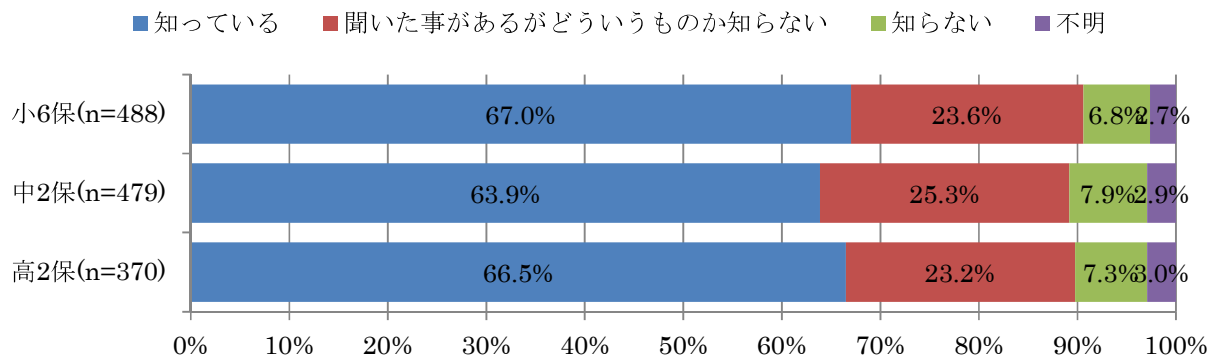
学校裏サイト



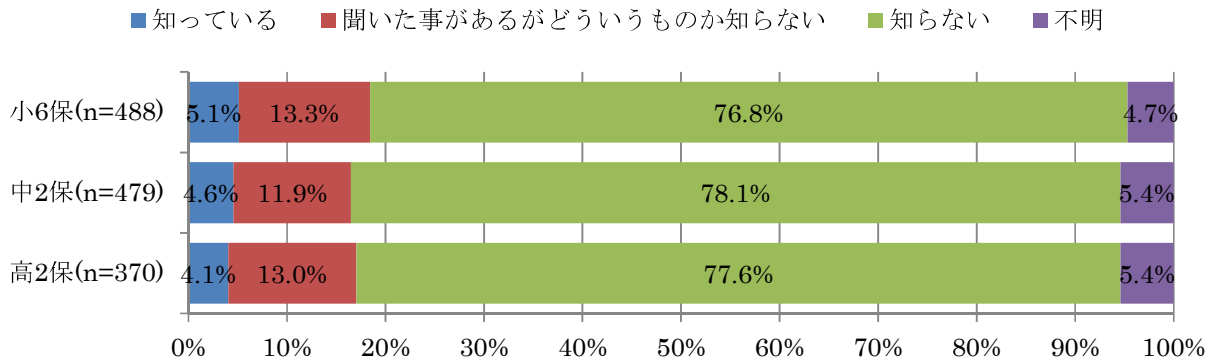
チェーンメール



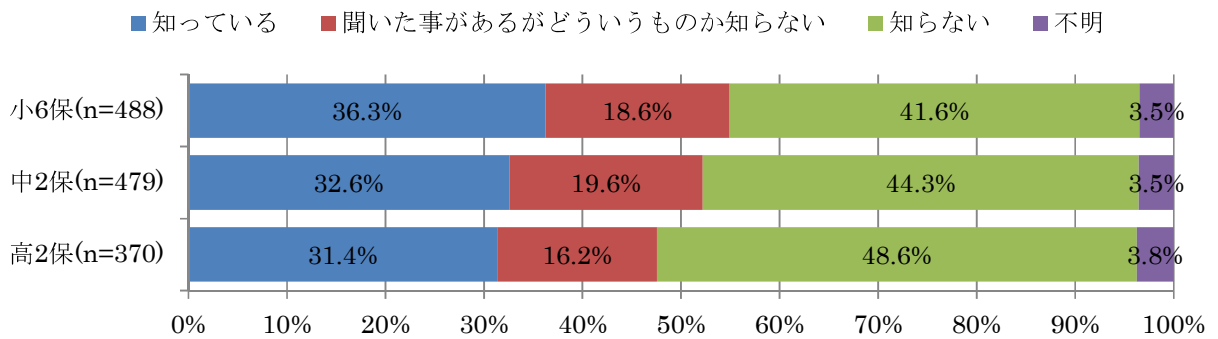
チャット



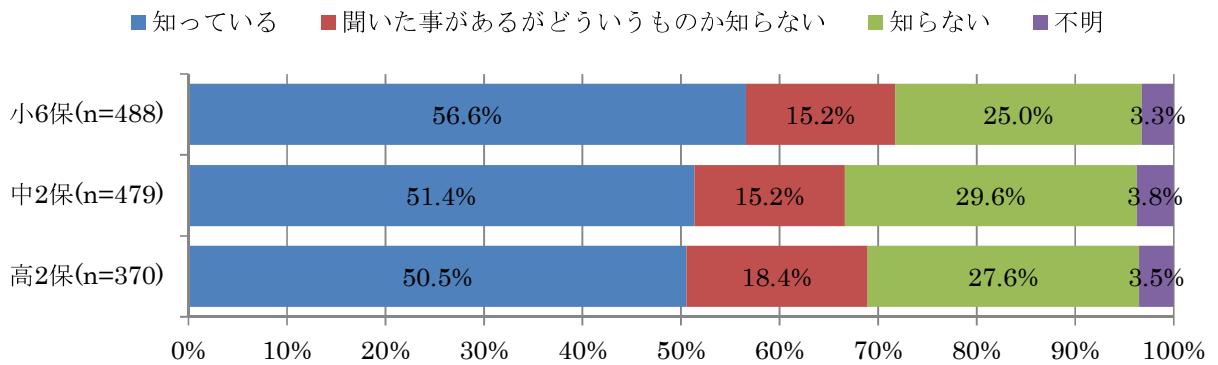
レイティングシール



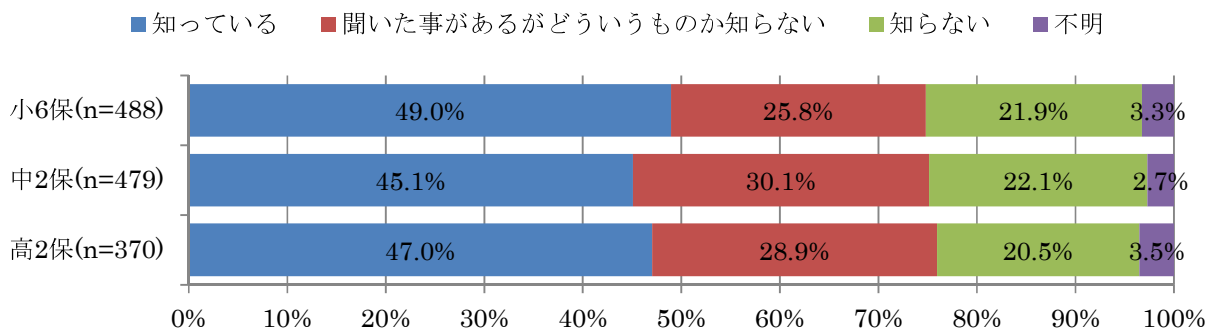
コンプリートガチャ

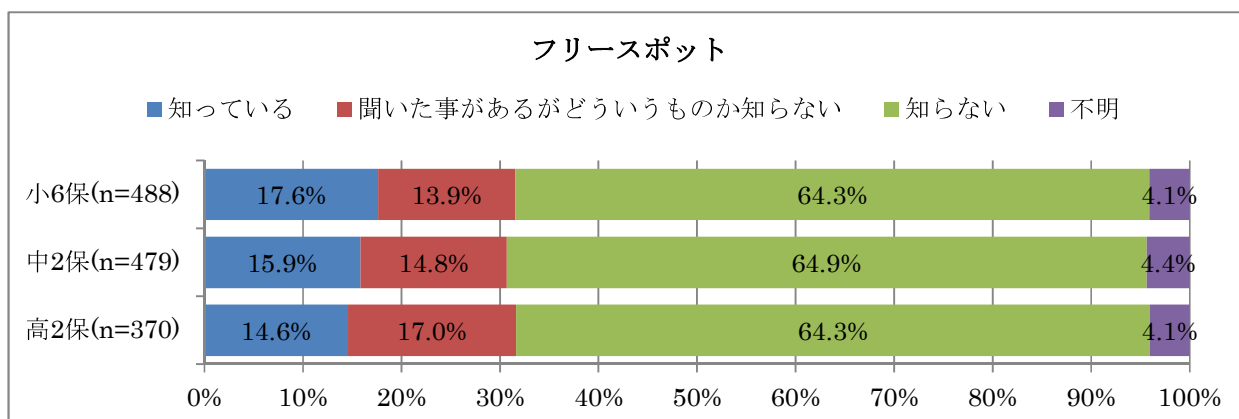


クリック詐欺



Wi-Fi



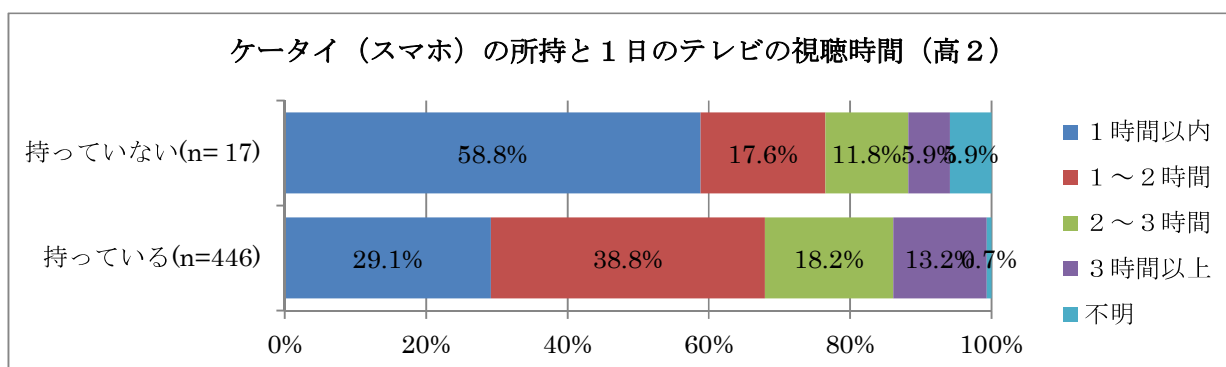
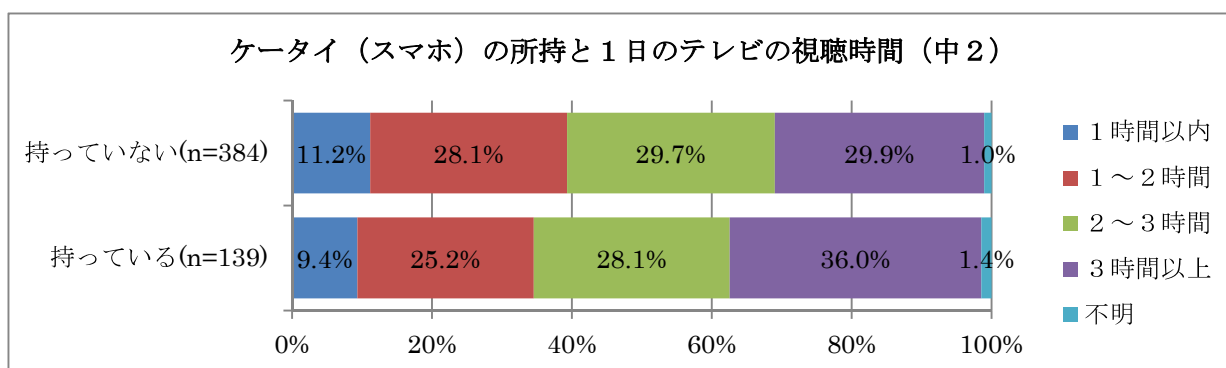
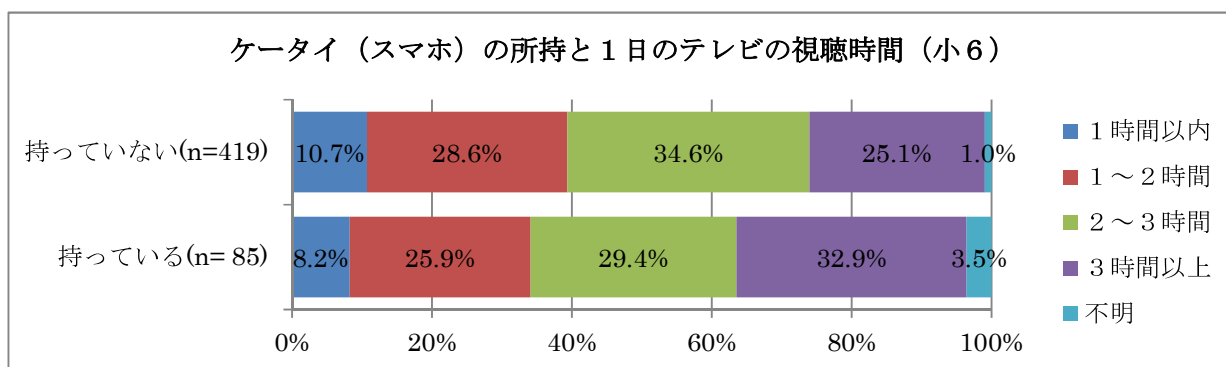
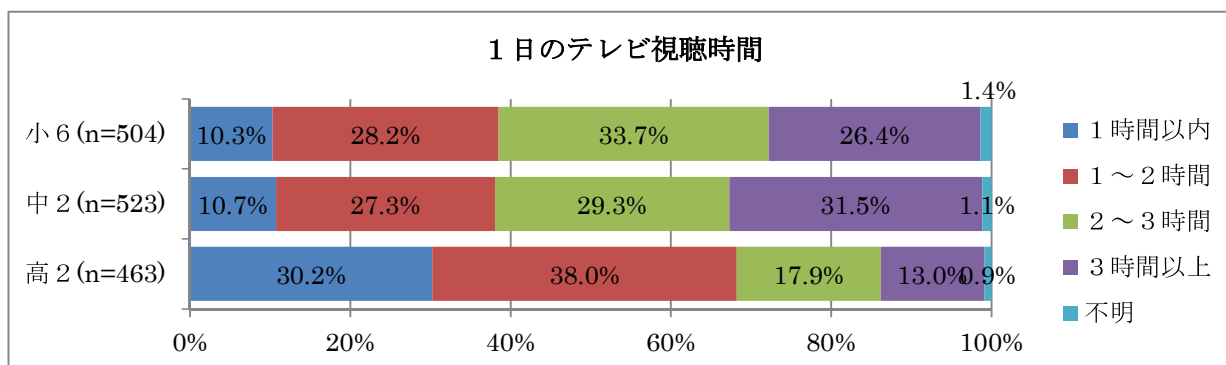


<機器や機能、情報モラルに関する知識について（保護者）>

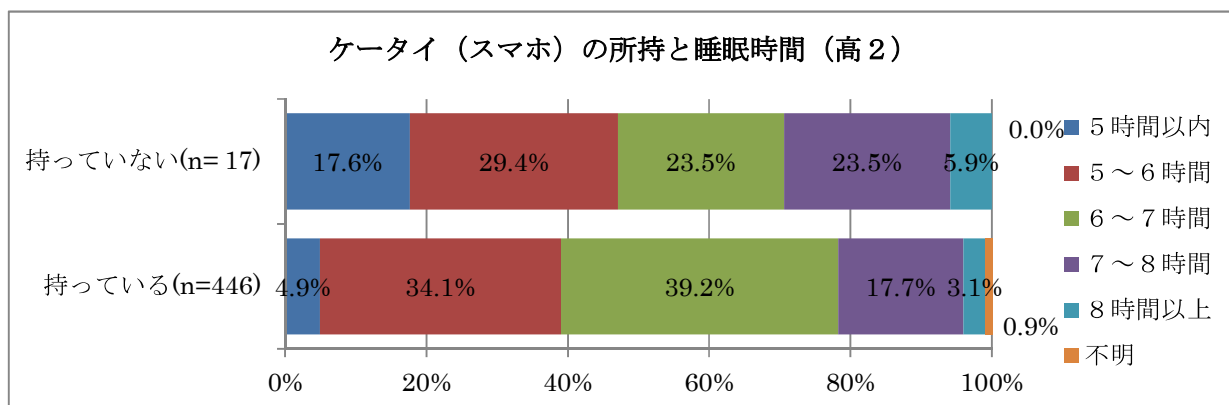
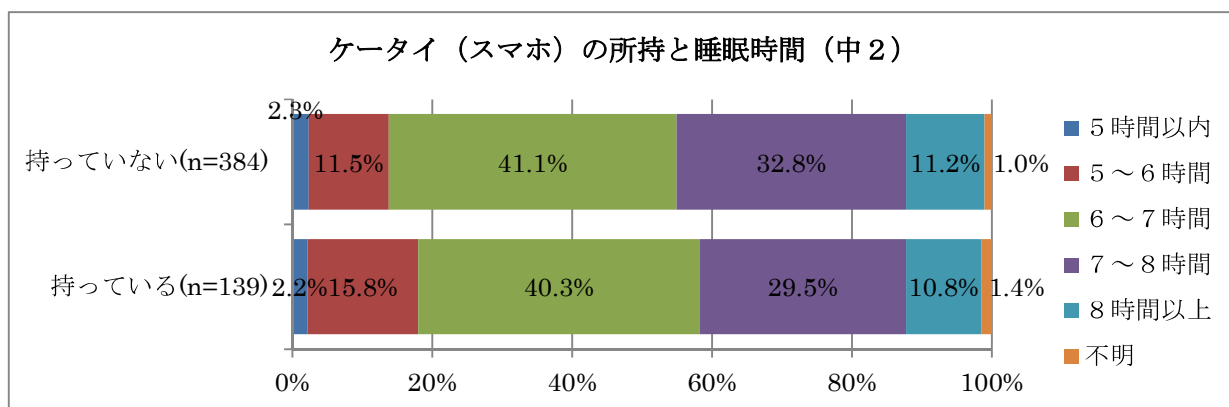
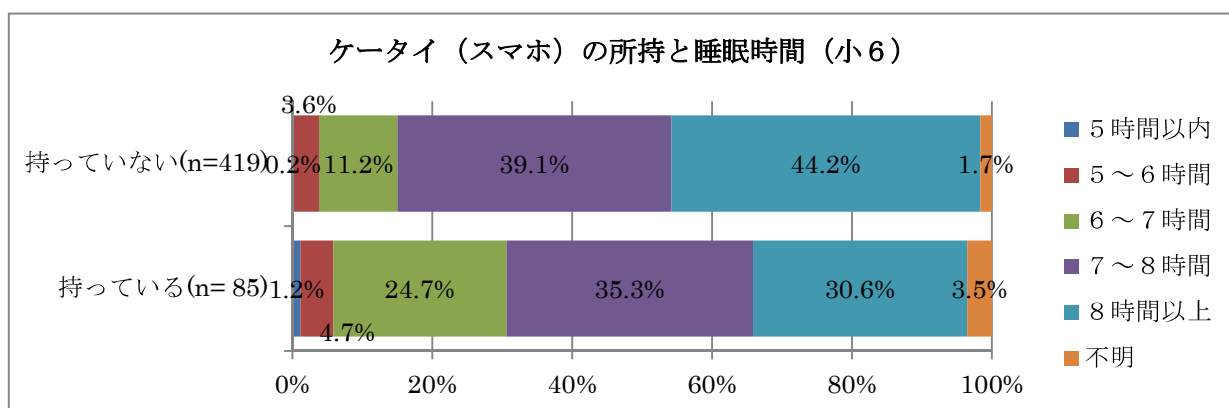
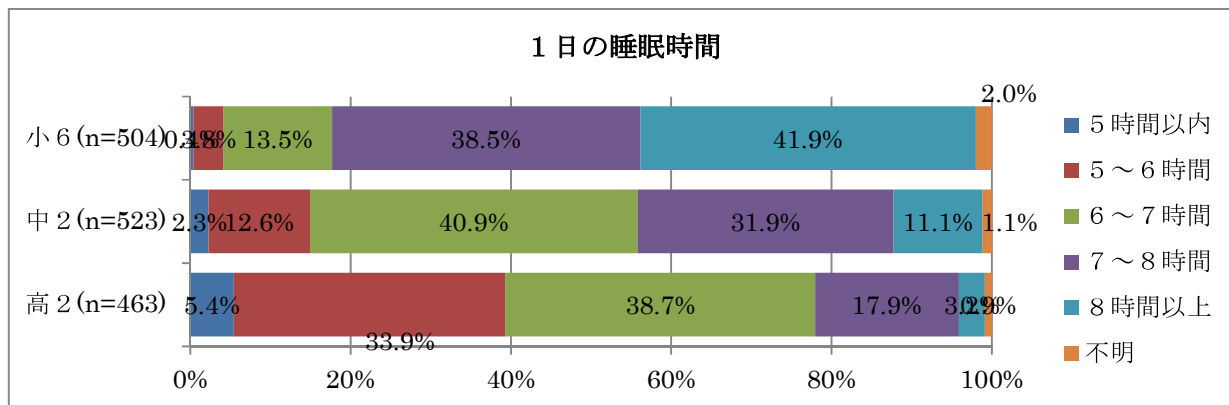
- ・知識の有無や用語の理解については、学年別で大きな差はなかった。
- ・「ブログ」「出会い系サイト」「チェーンメール」「チャット」については、認識度が高く、どの学年でもほぼ7割以上が「知っている」という回答である。
- ・「プロフ」「学校裏サイト」「クリック詐欺」「W i - F i」についての認知度は4割～6割である。
- ・「SNS」「レイティングシール」「コンプリートガチャ」「フリースポット」については、認識度がかなり低く、4割未満である。
- ・特に、新しい用語（「SNS」「フリースポット」等）や、ゲーム用語（「レイティングシール」「コンプリートガチャ」等）は、保護者には十分に理解されていない。
- ・保護者が子どもたちの囲まれている環境や危険性を十分に認識するため、今後、認知度の低い用語や内容について、重点的に啓発していく必要がある。

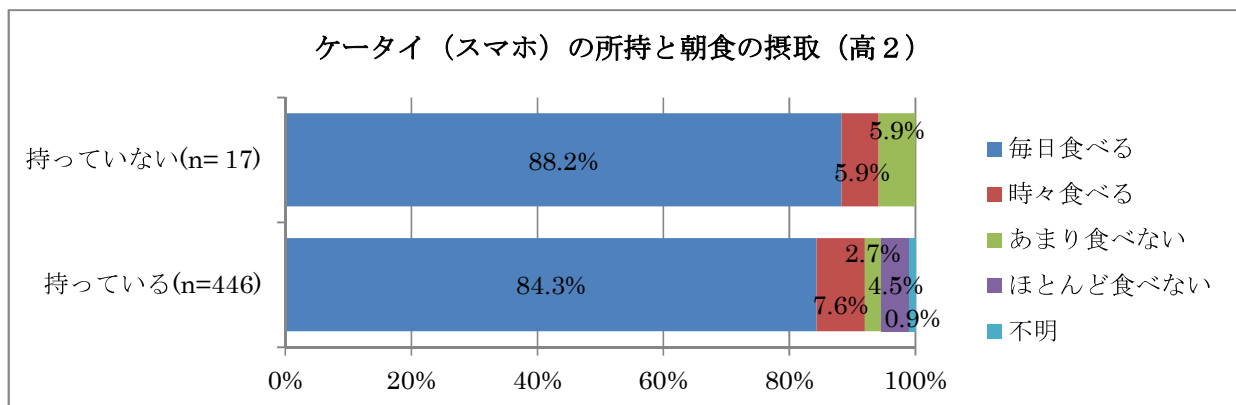
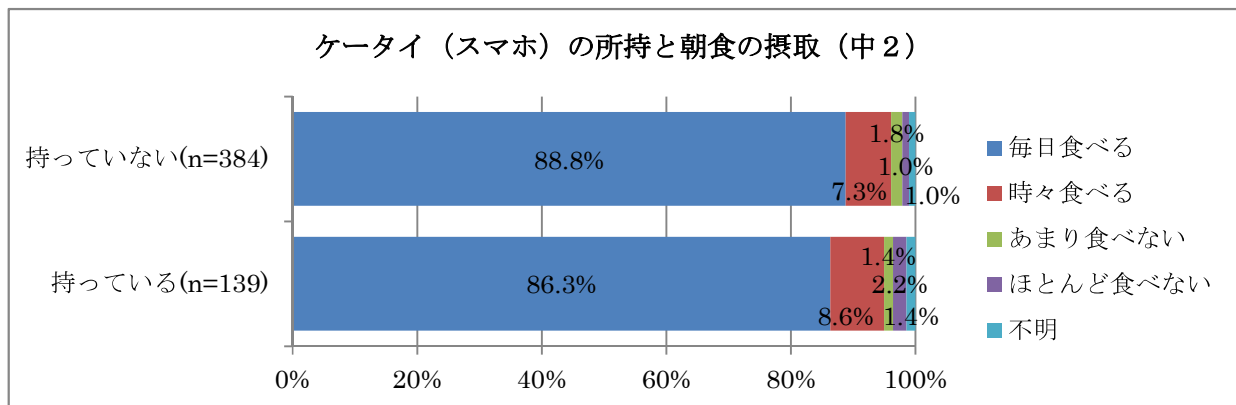
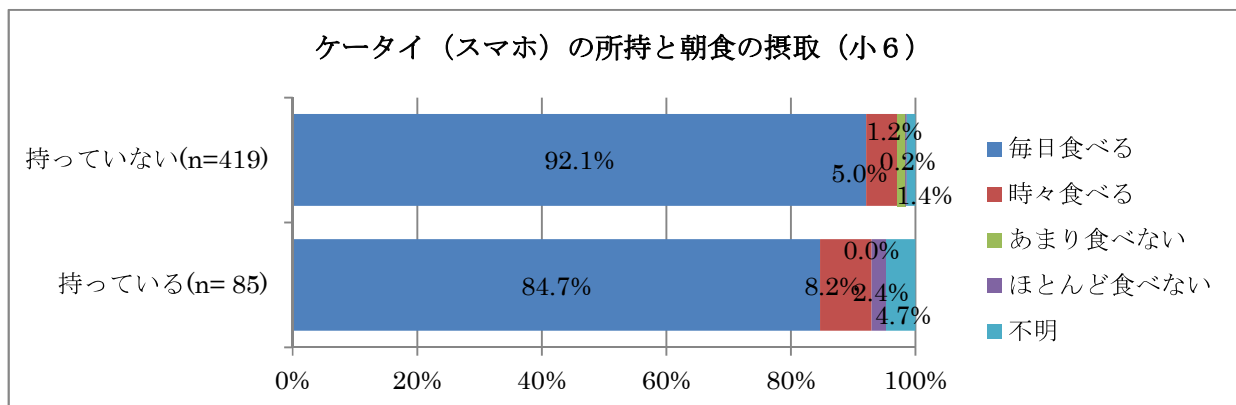
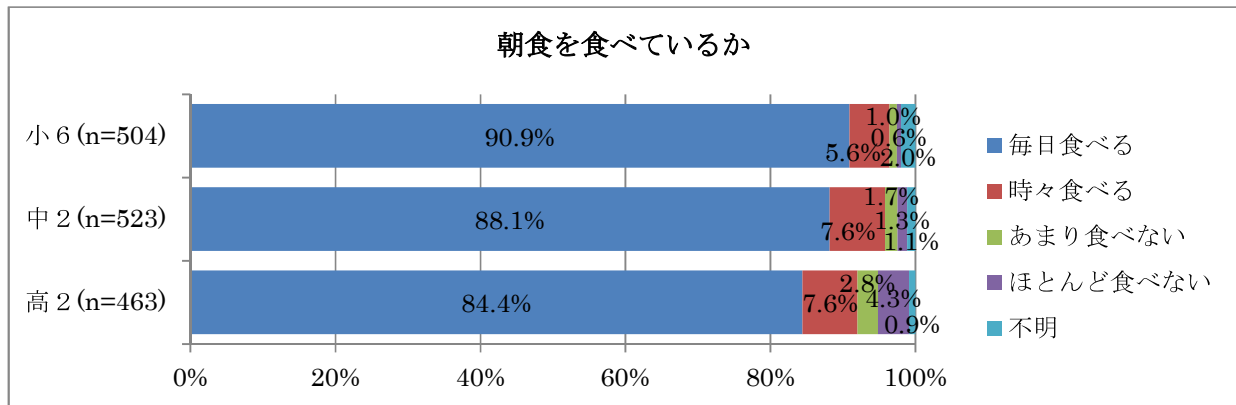
11 生活習慣・学習習慣・人間関係・自尊感情・体験活動との関係

【児童・生徒】 Q28. あなたは、1日平均何時間くらいテレビをみますか。

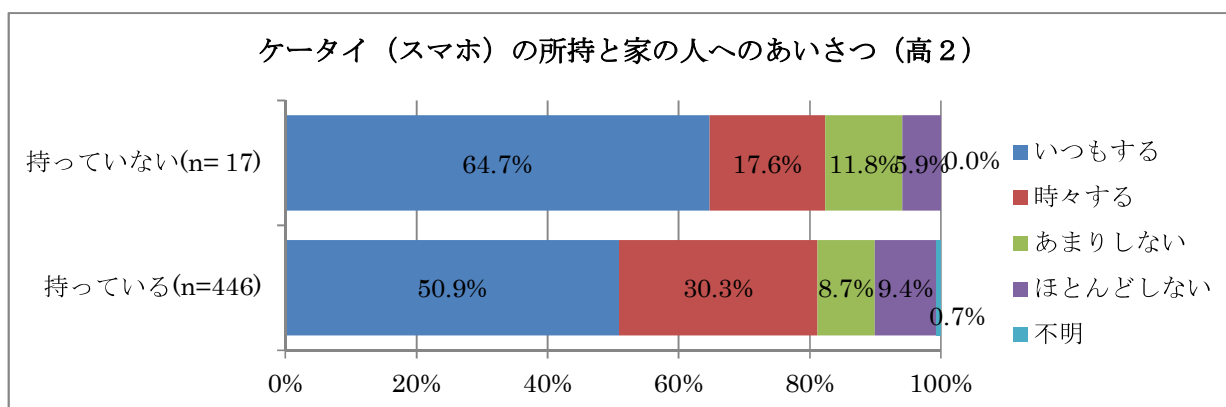
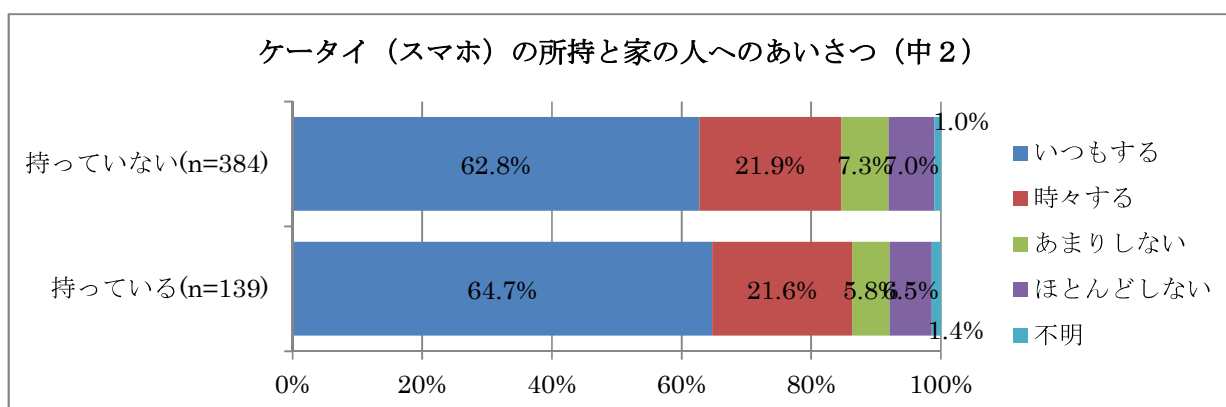
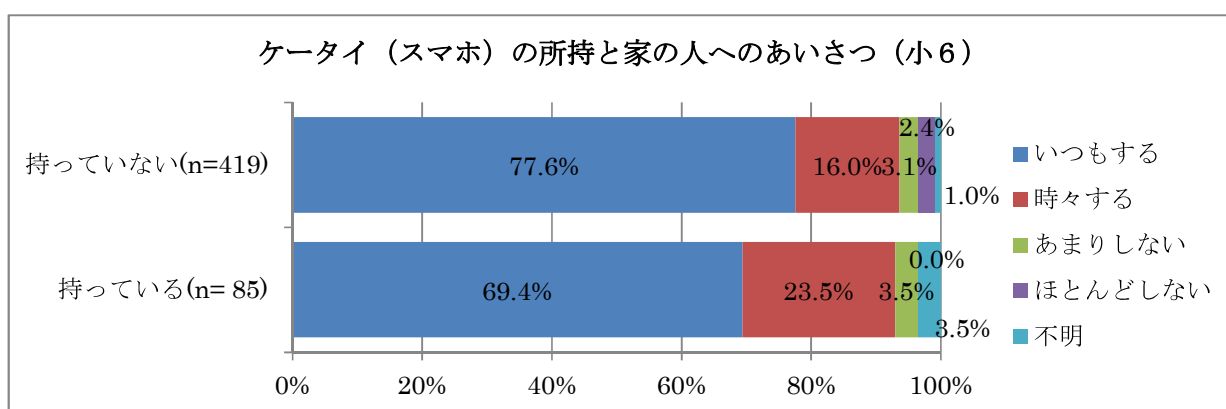
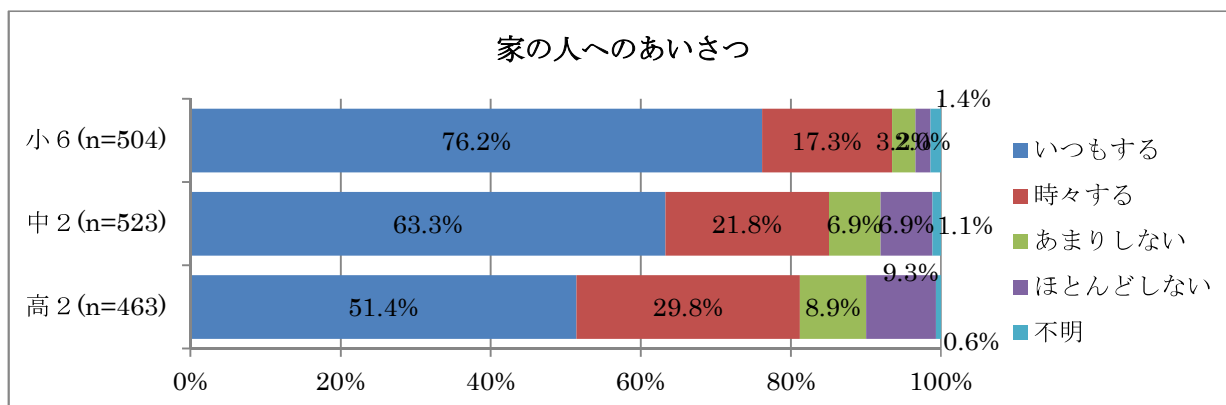


【児童・生徒】Q29. あなたの睡眠時間は、1日平均何時間くらいですか。

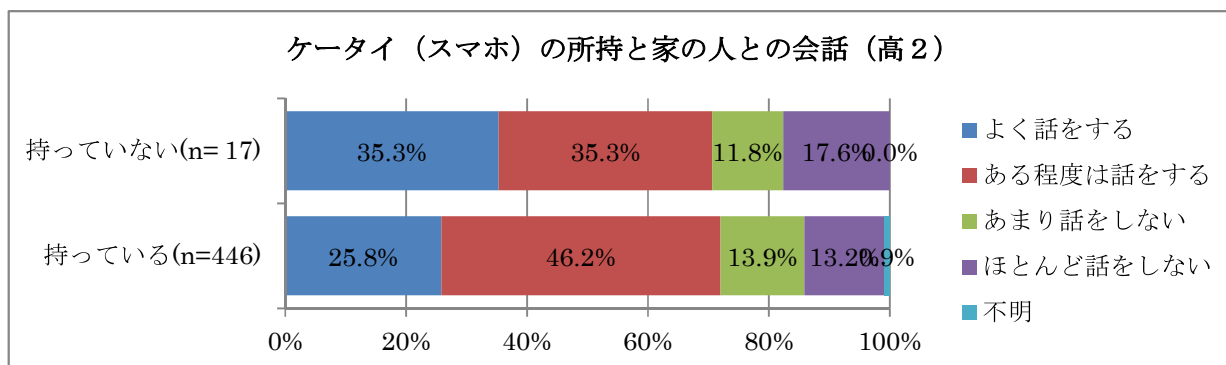
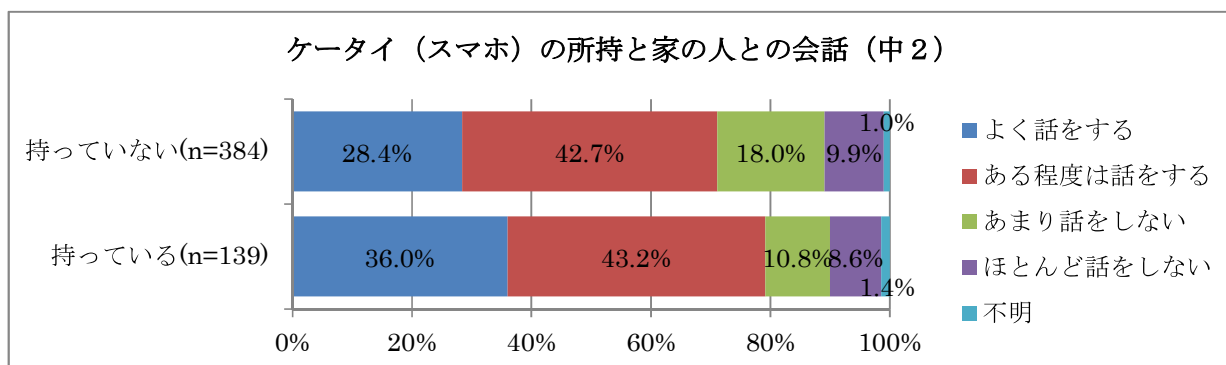
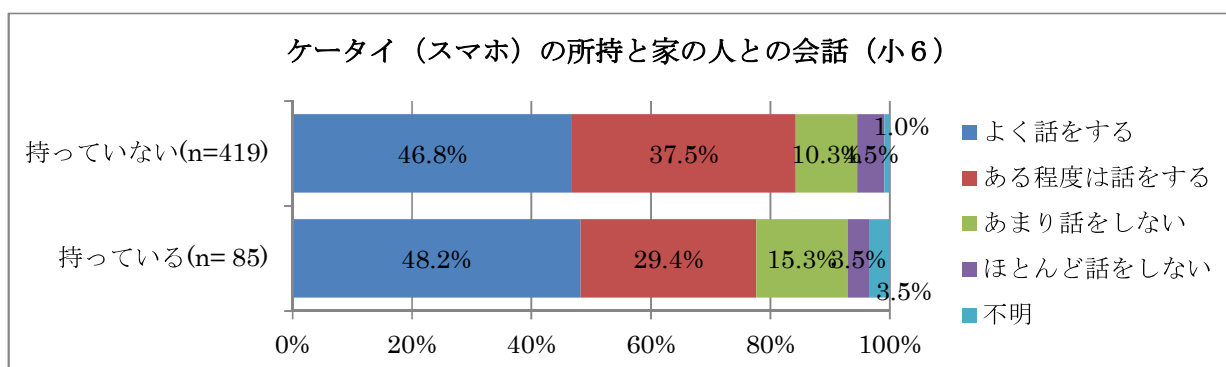
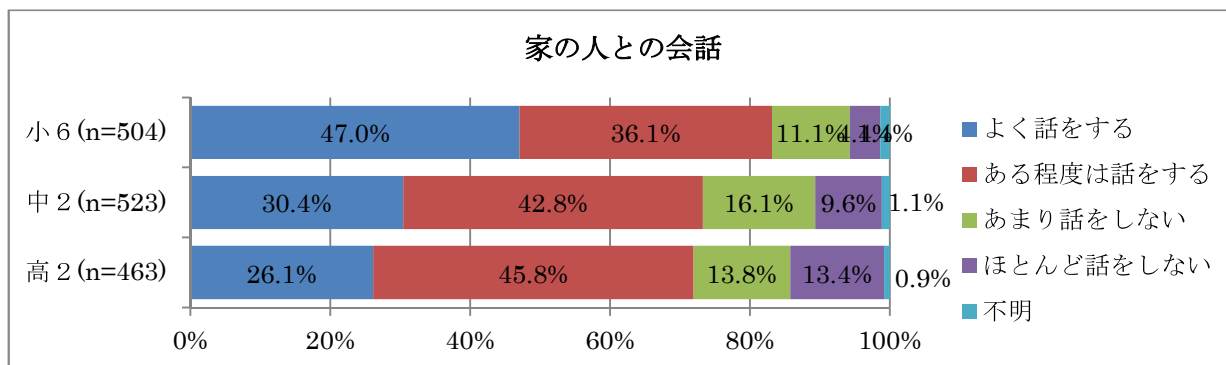




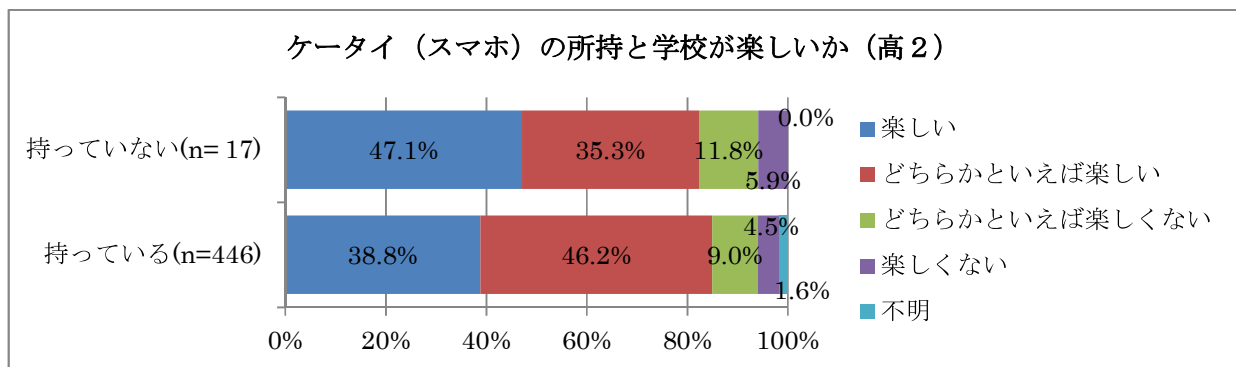
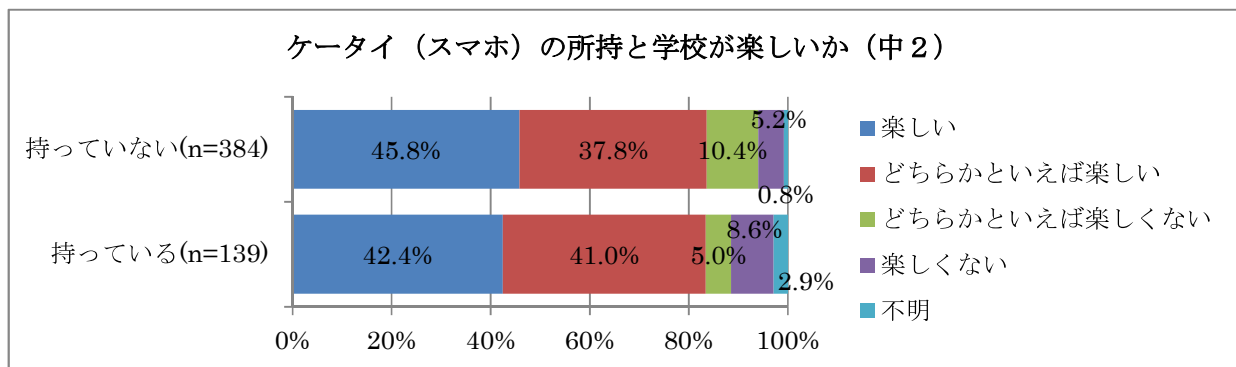
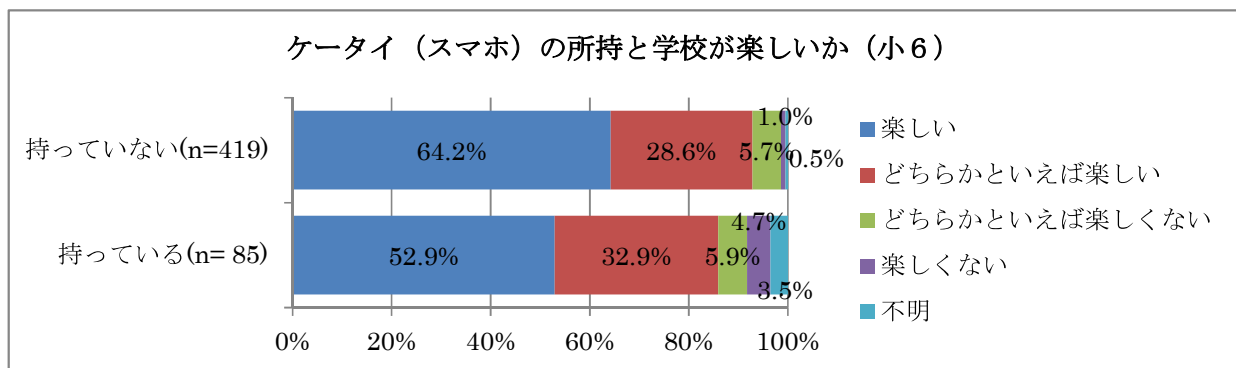
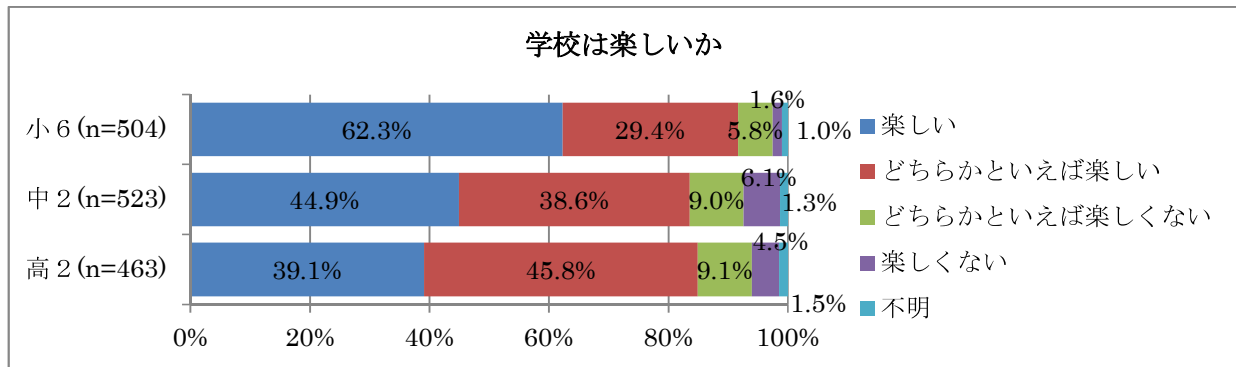
【児童・生徒】Q31. あなたは、家の人に「おはよう」「行ってきます」「ただいま」のあいさつをしますか。



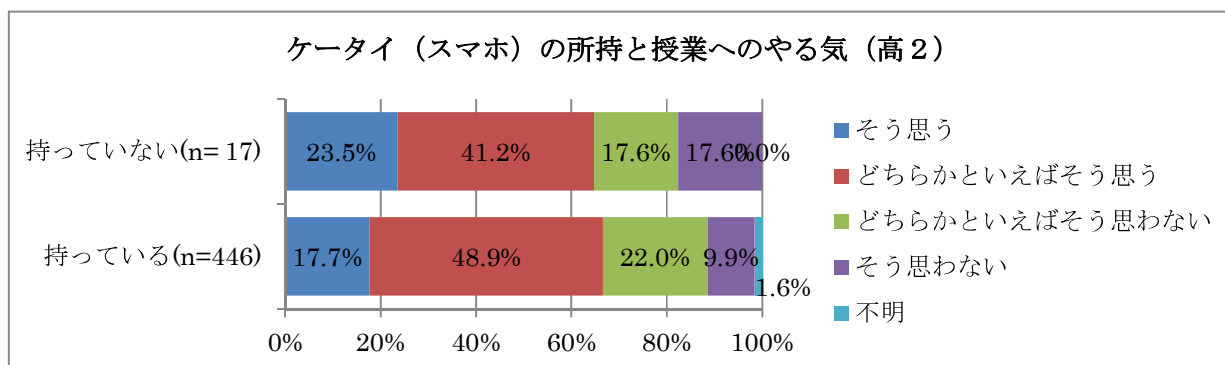
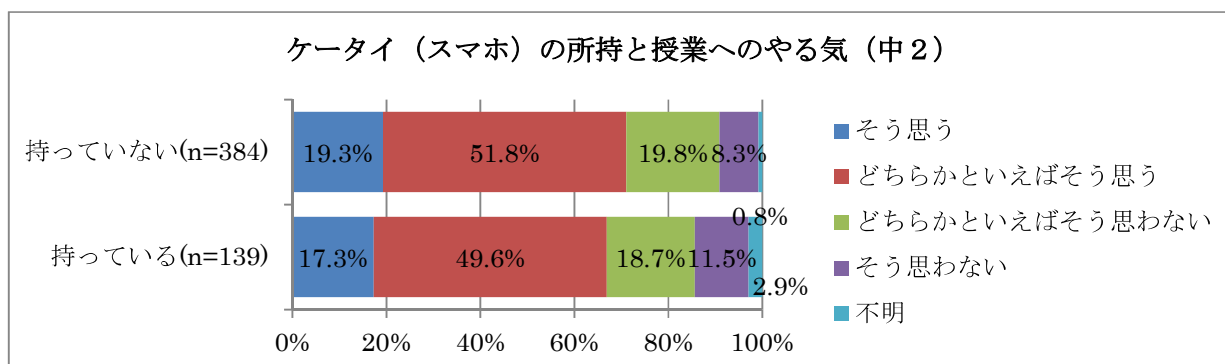
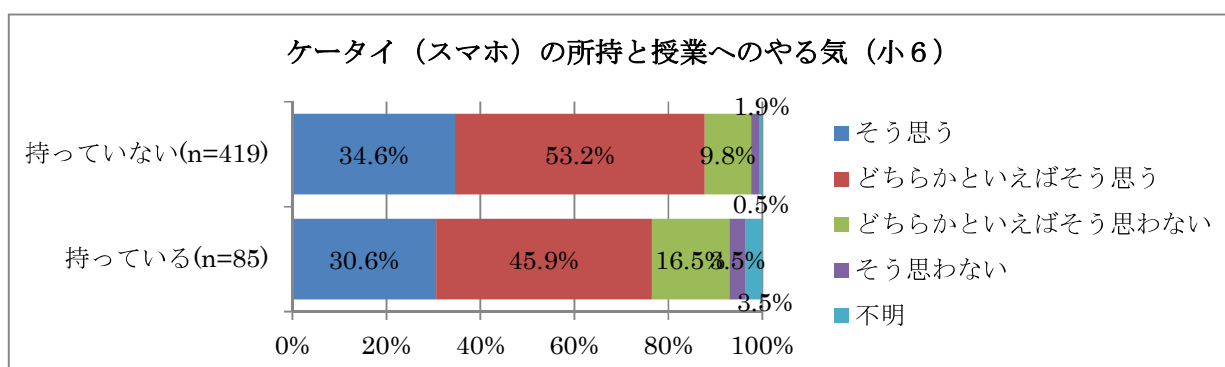
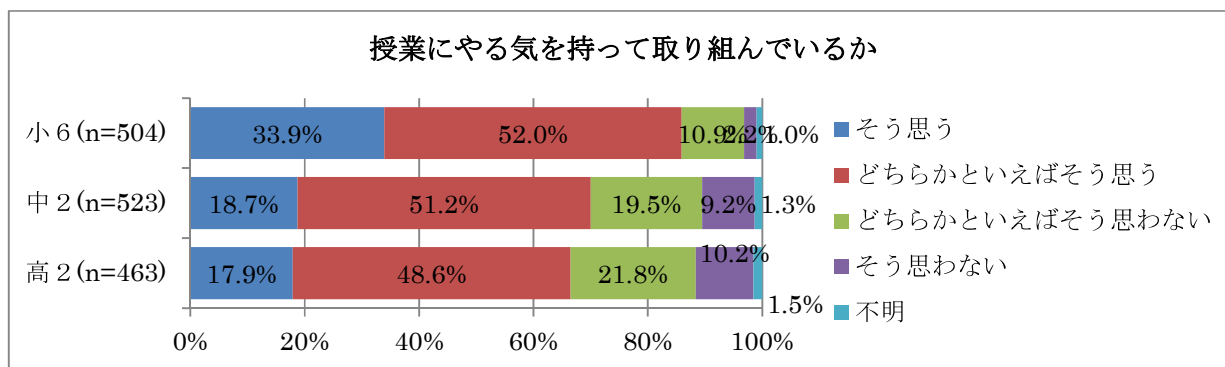
【児童・生徒】Q32. あなたは、家の人とよく話をしますか。



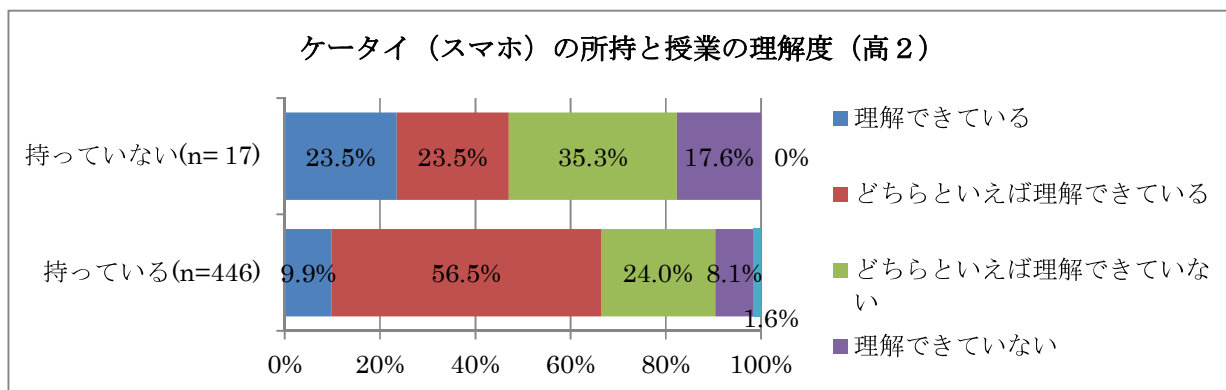
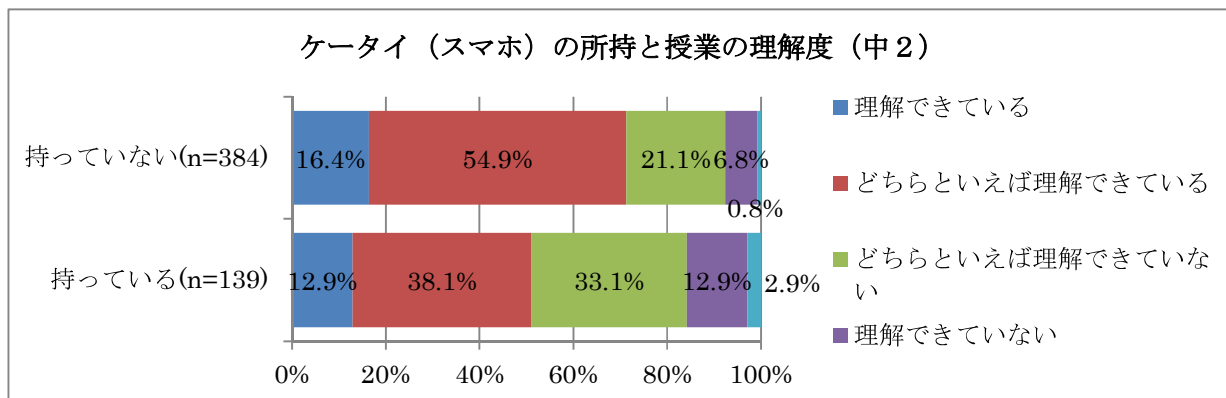
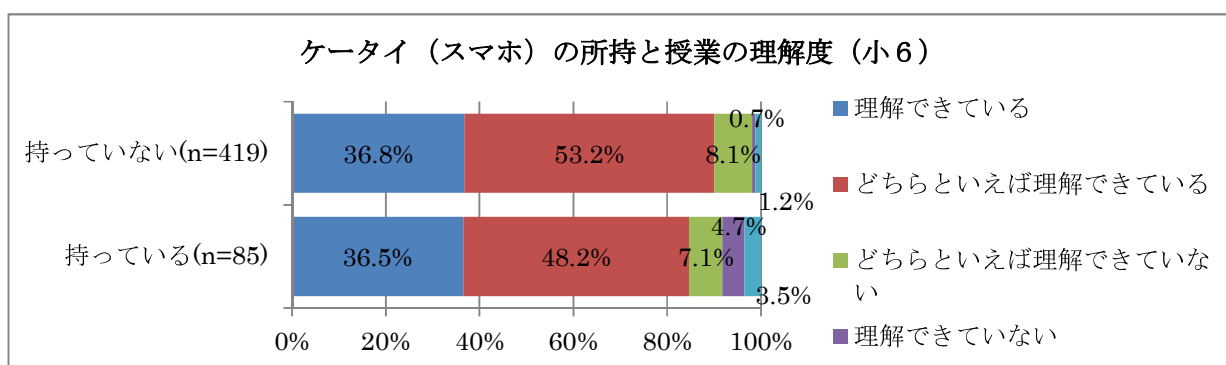
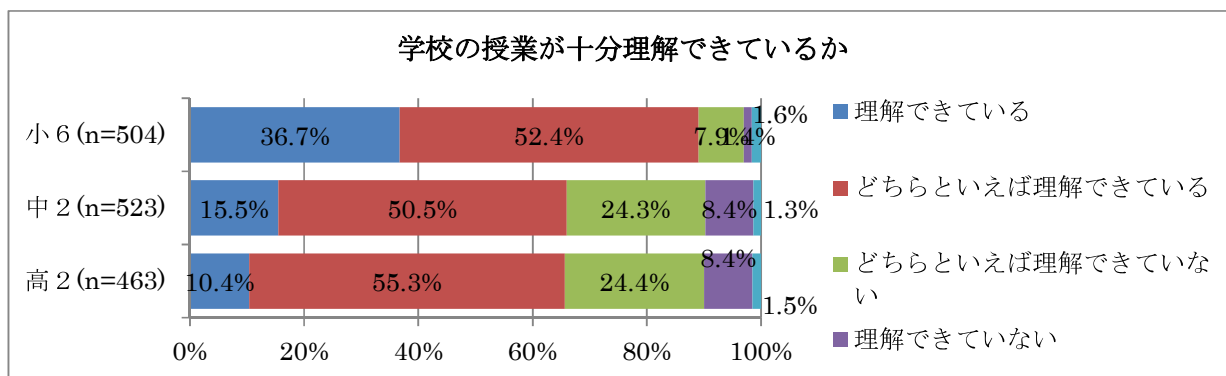
【児童・生徒】 Q33. あなたにとって、学校は楽しいですか。



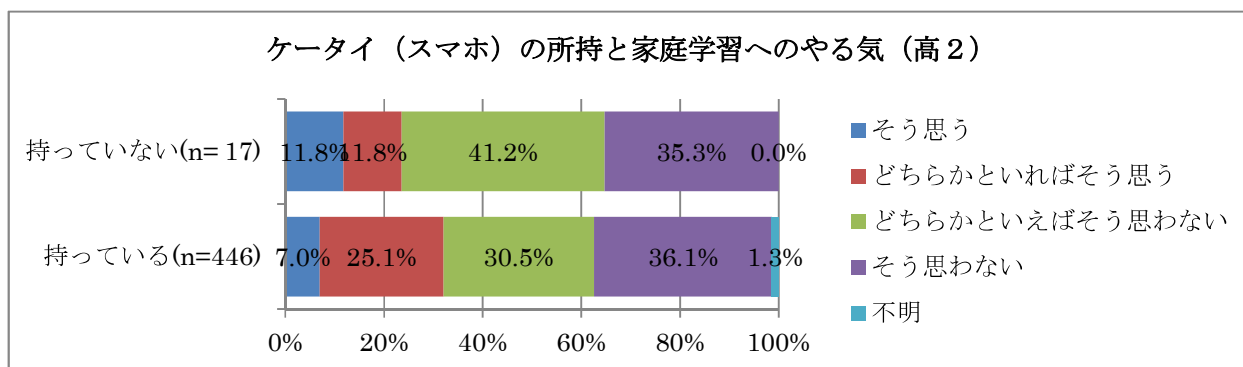
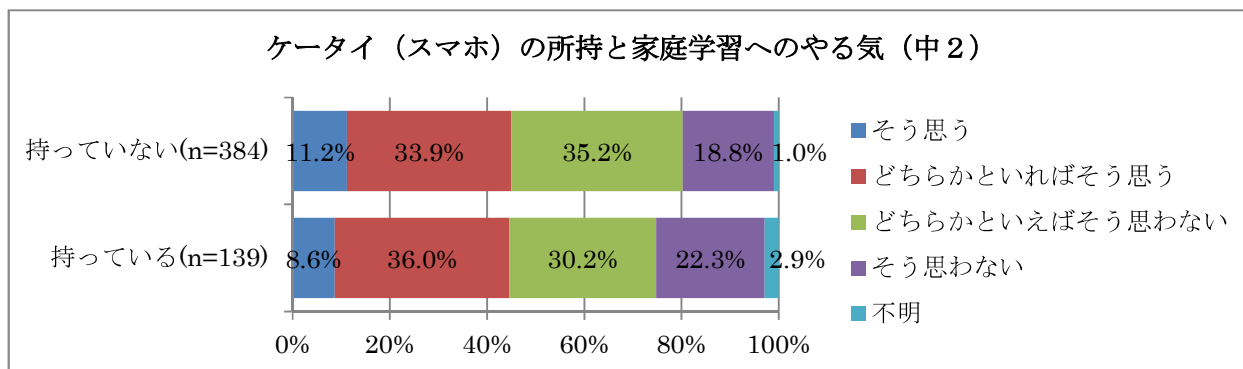
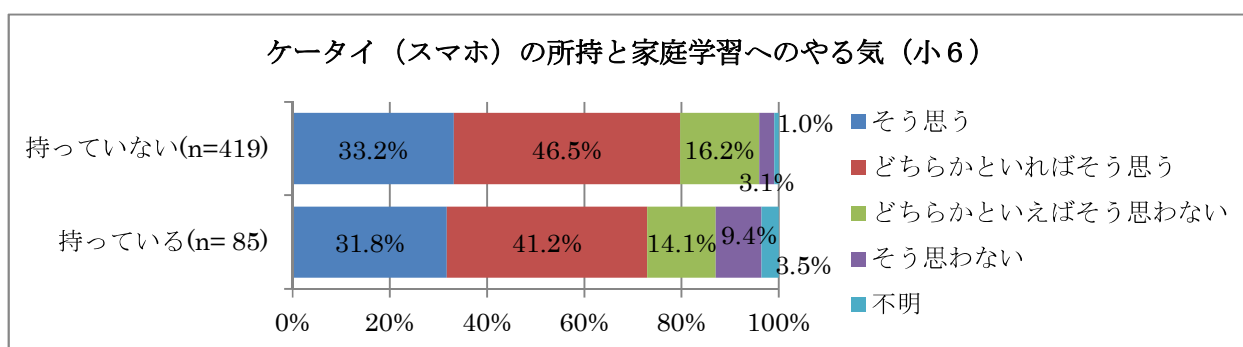
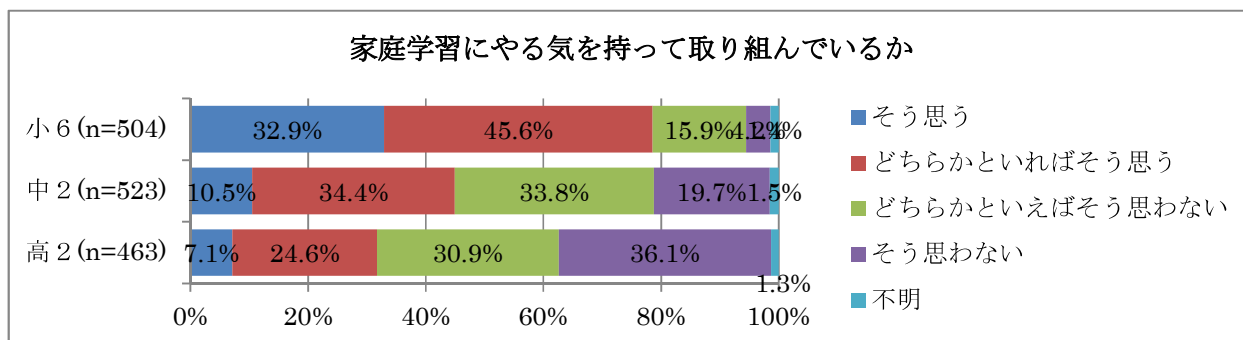
【児童・生徒】Q34. あなたは、学校の授業にやる気を持って取り組んでいますか。



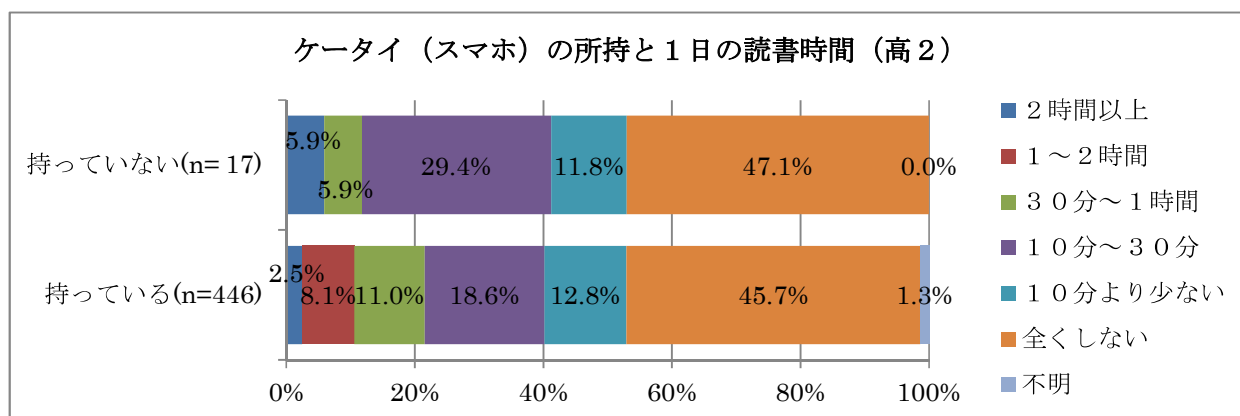
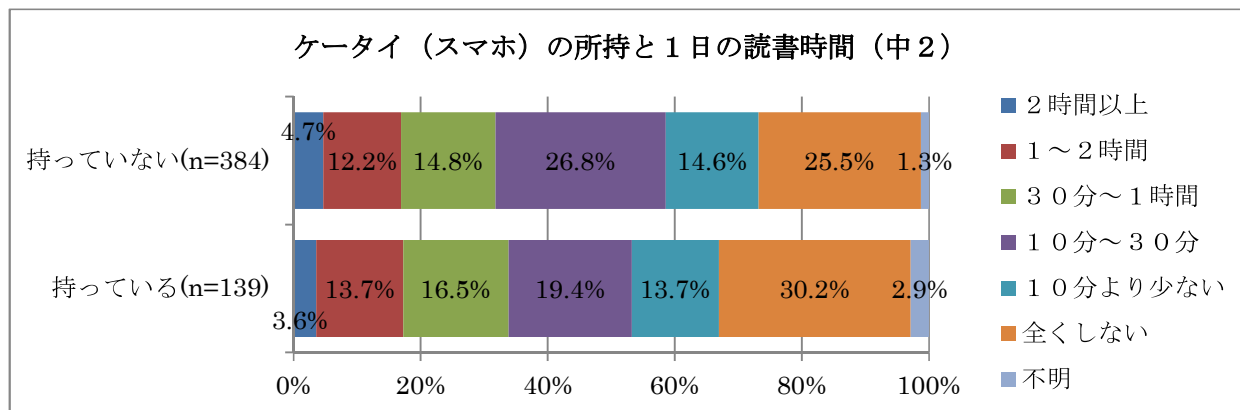
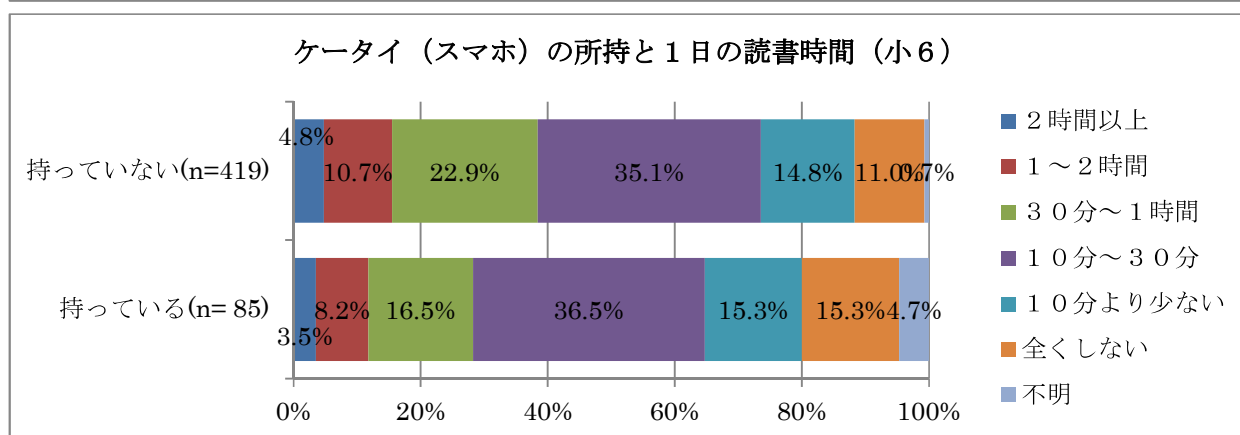
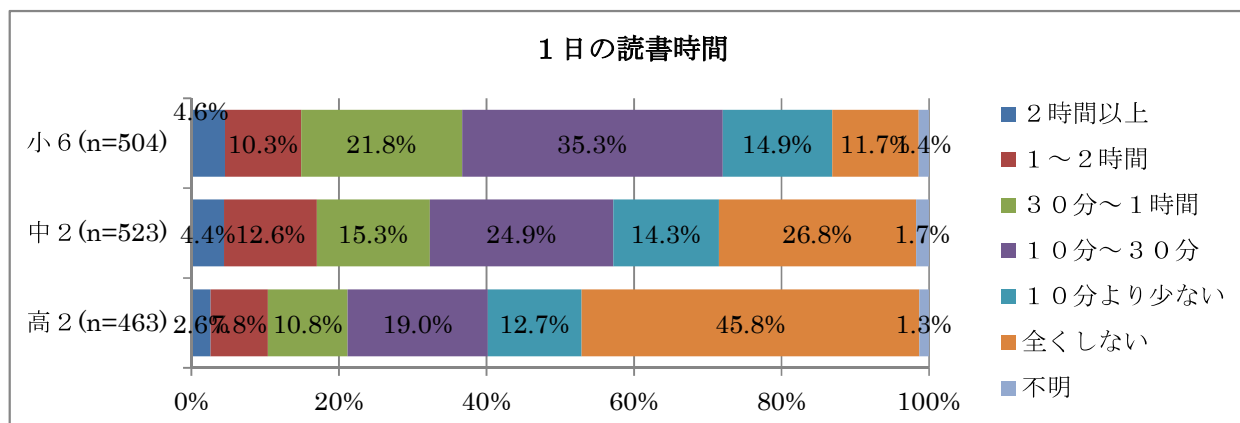
【児童・生徒】Q35. あなたは、学校での授業が十分理解できていますか。



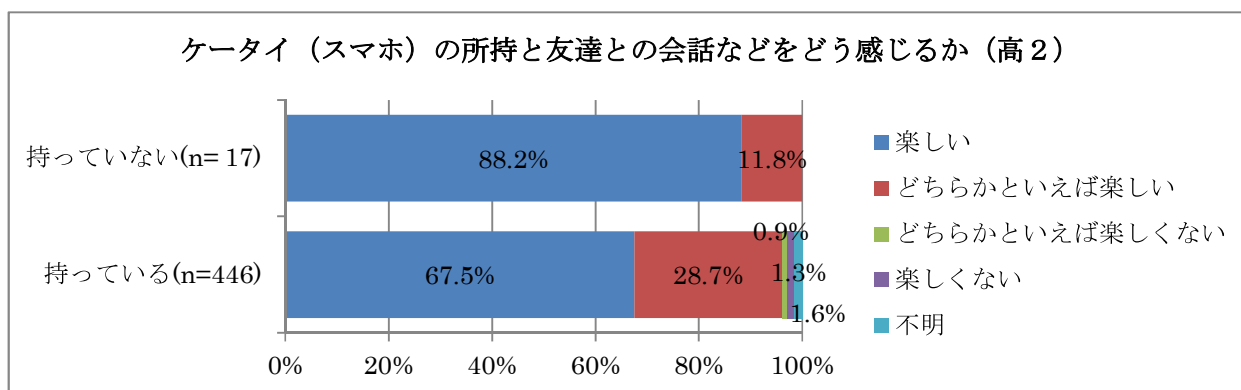
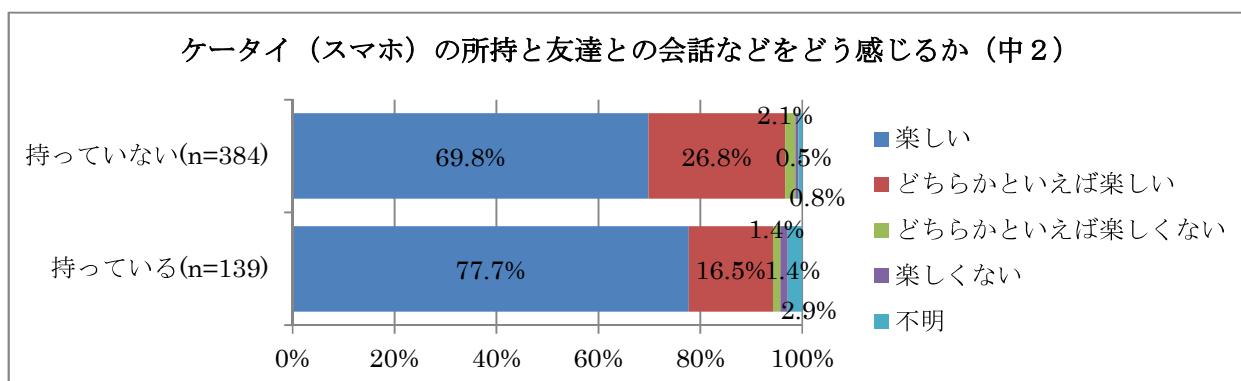
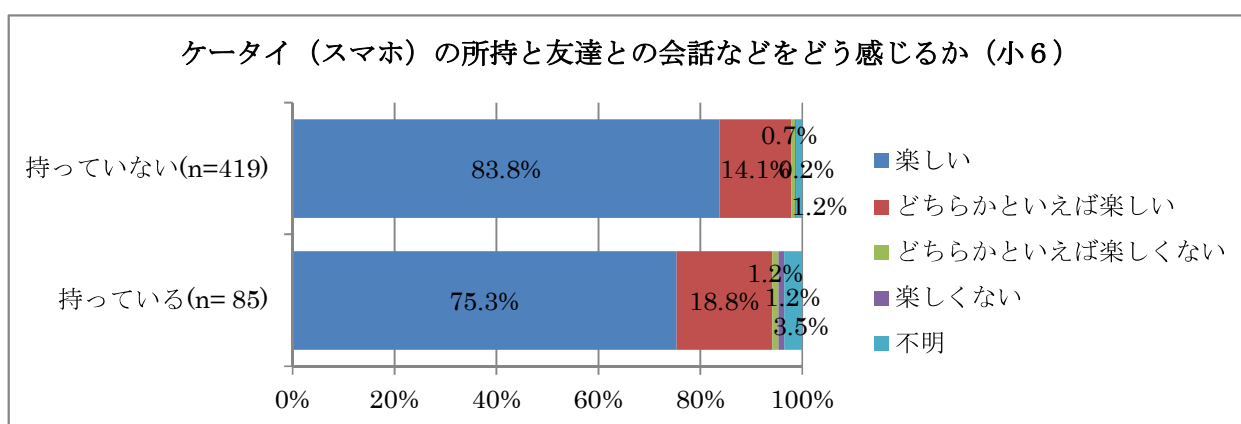
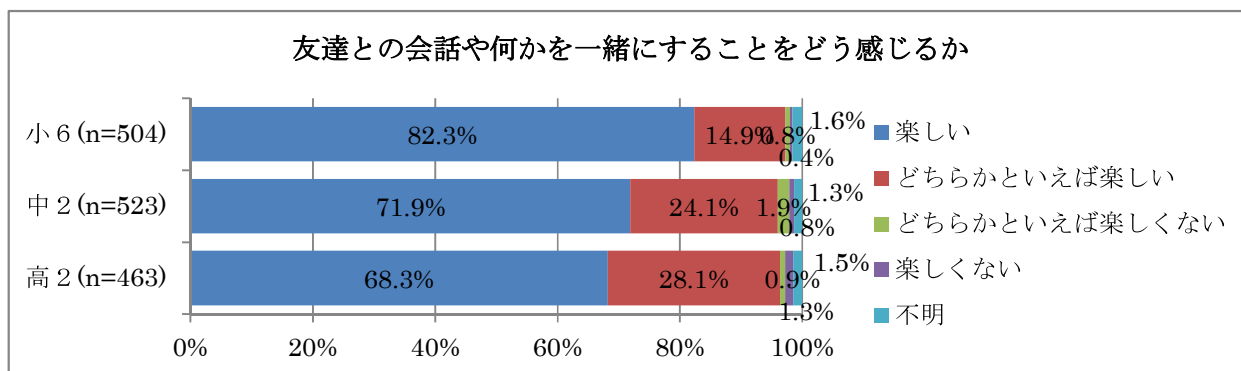
【児童・生徒】Q36. あなたの家庭学習への取り組みは、どうですか。



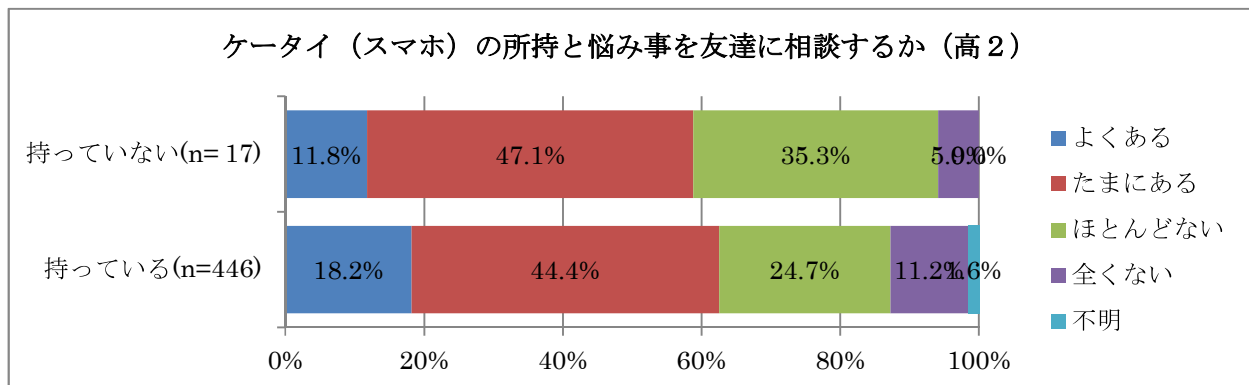
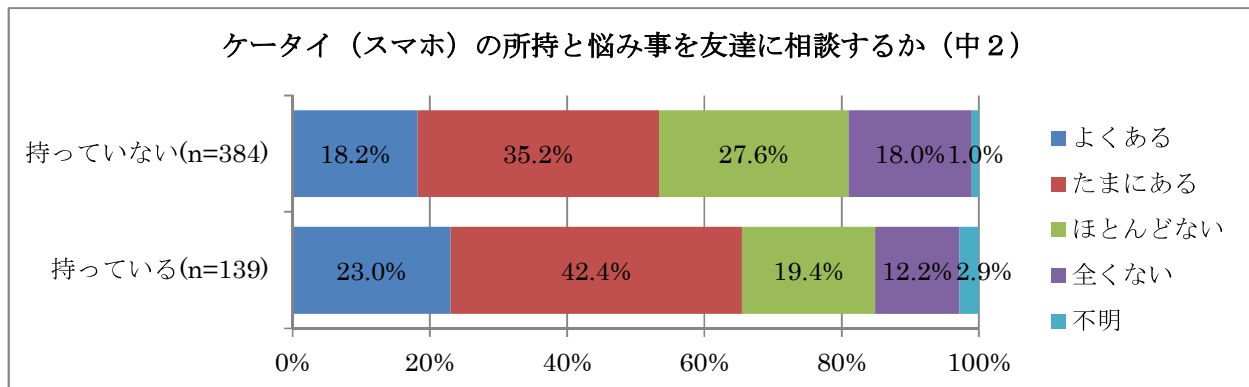
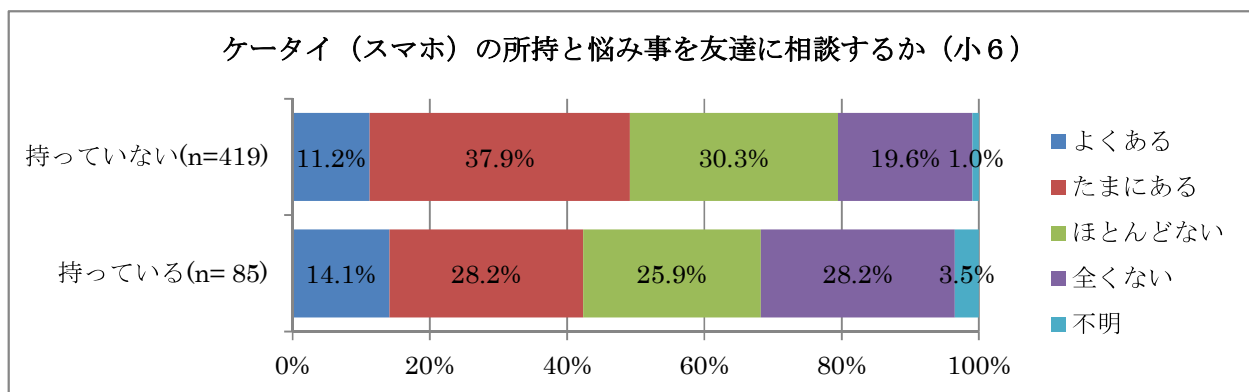
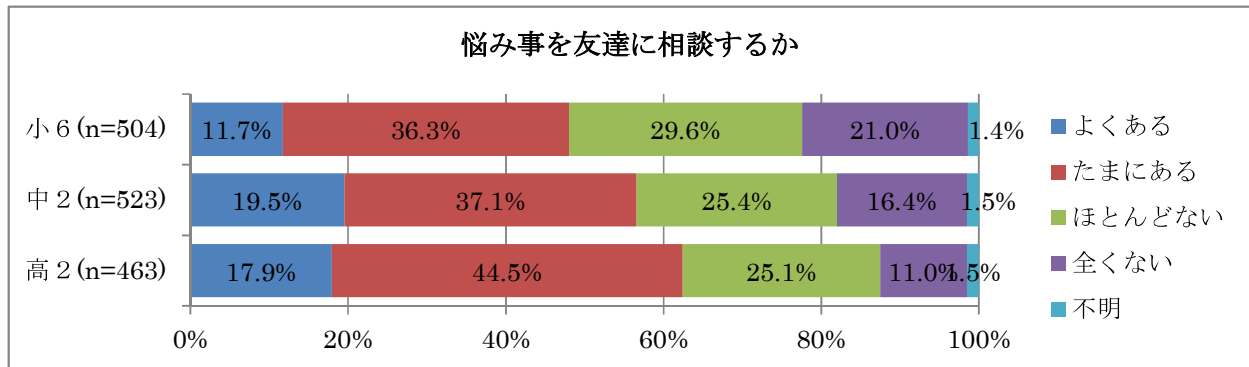
【児童・生徒】Q37. あなたは、1日どのくらいの時間読書をしていますか。(一斉読書や朝読書は除く)



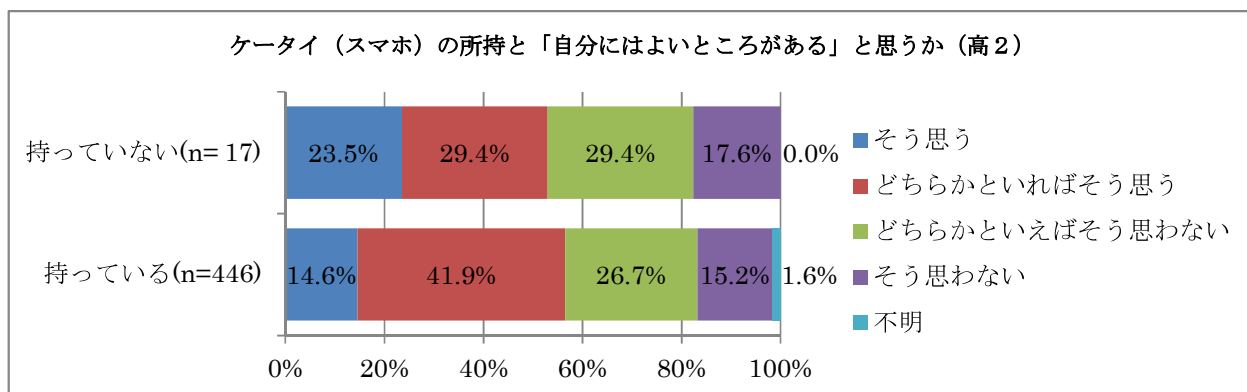
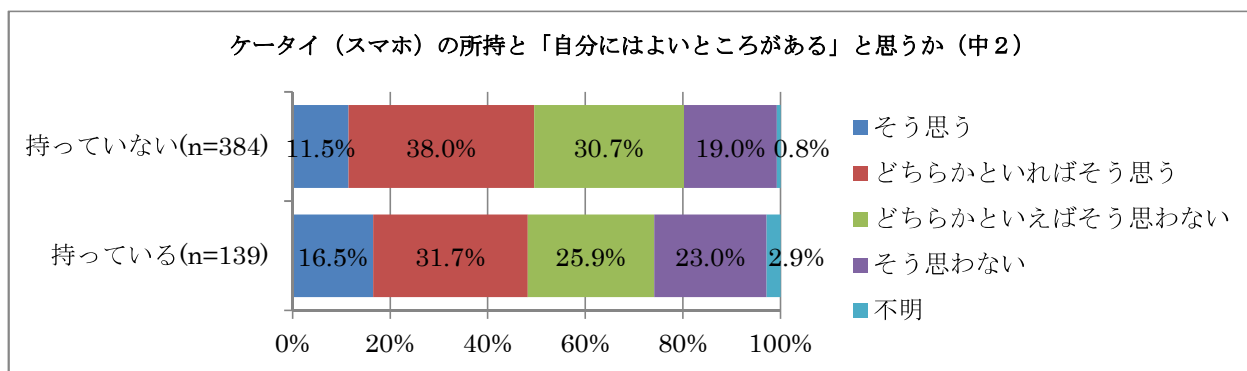
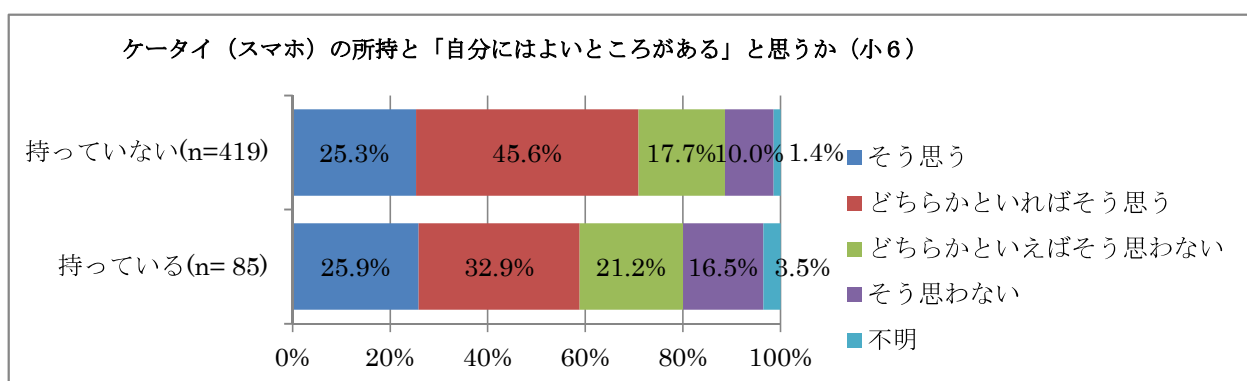
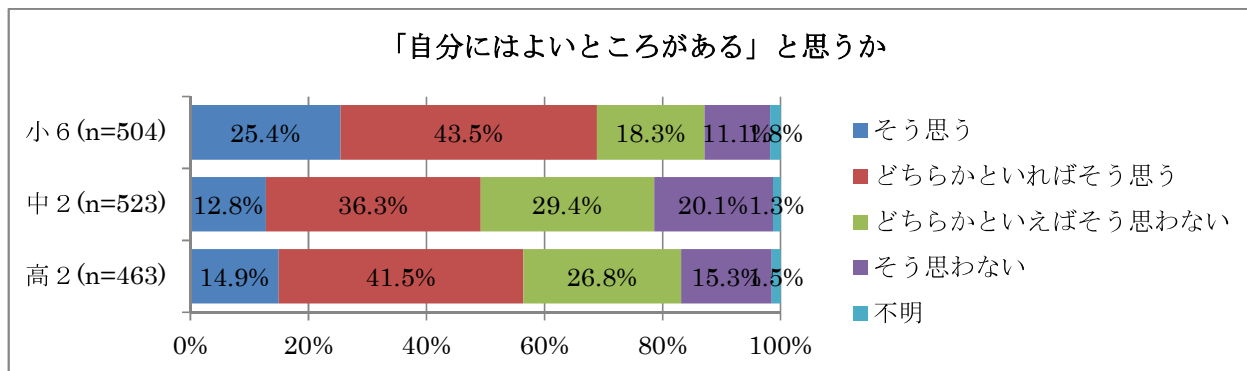
【児童・生徒】 Q38. あなたは、友だちと会話したり、何かを一緒にすることをどう感じますか。



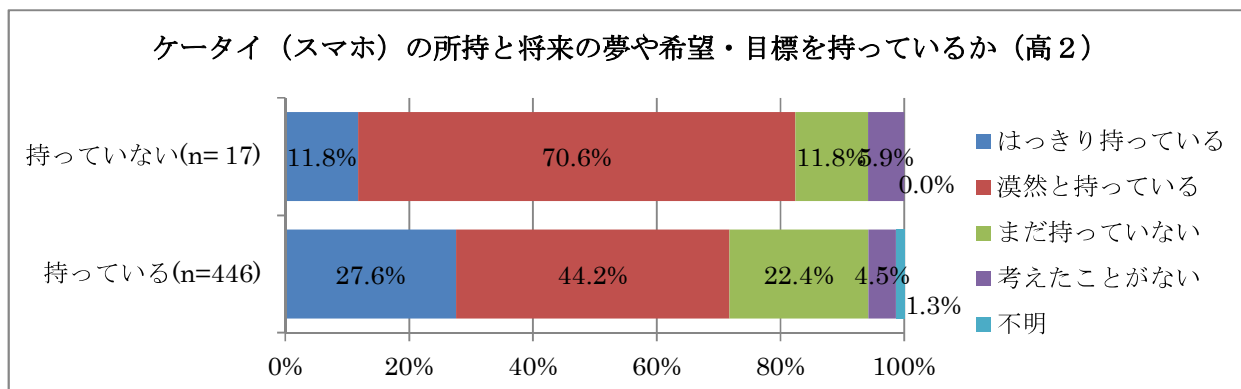
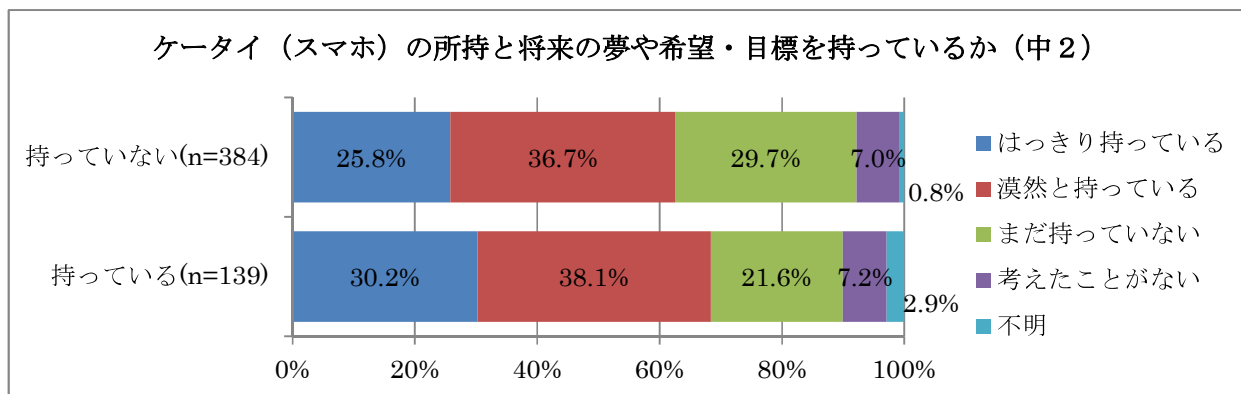
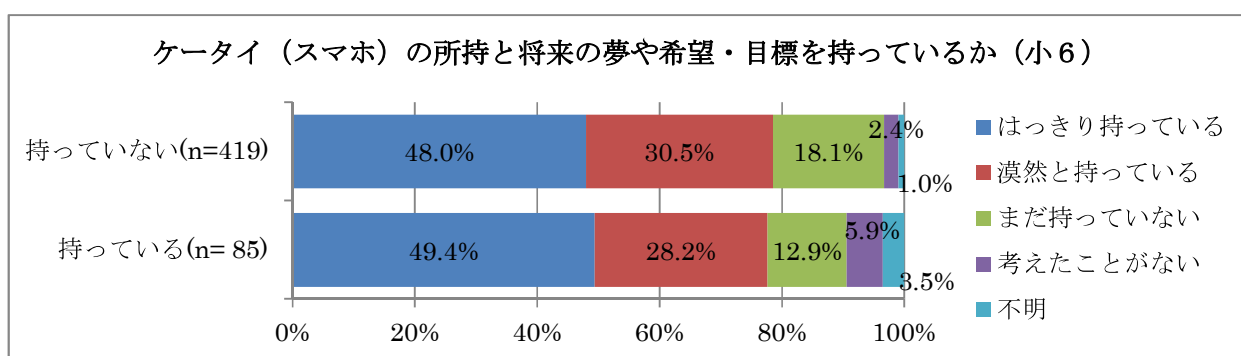
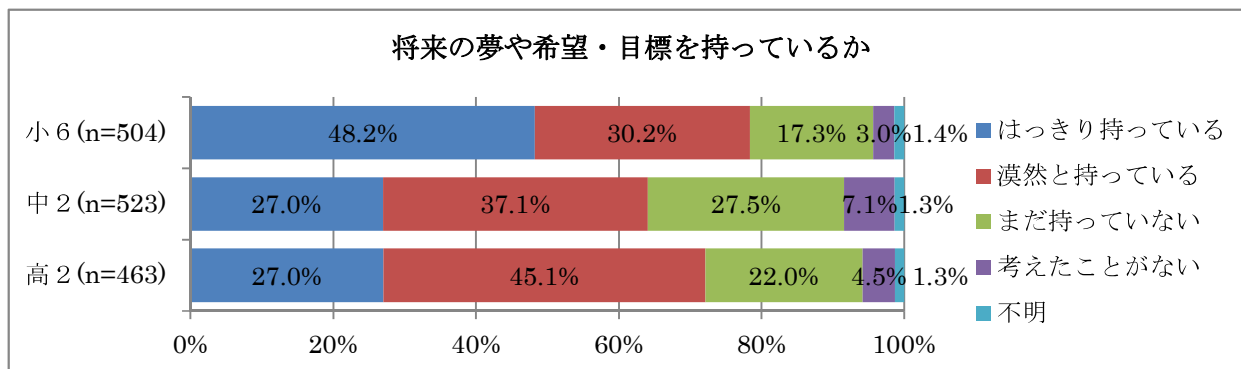
【児童・生徒】Q39. あなたは、悩み事を友だちに相談することがありますか。



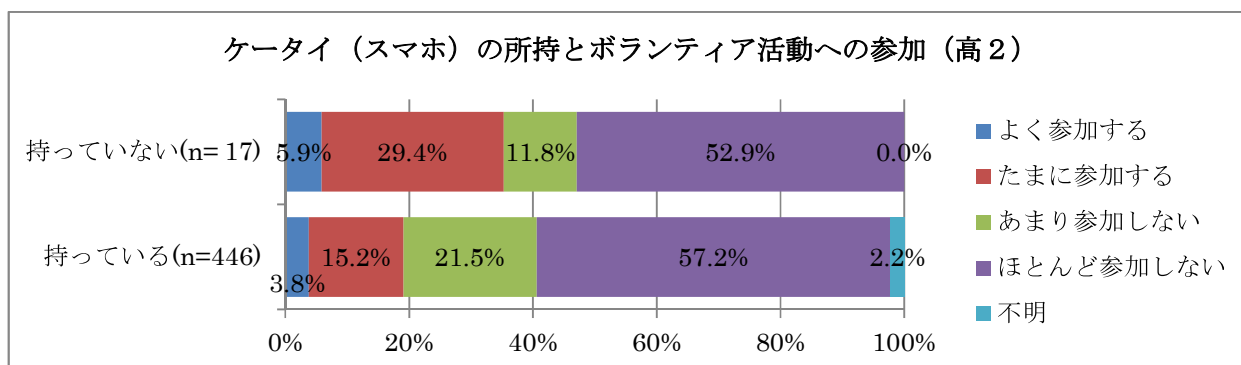
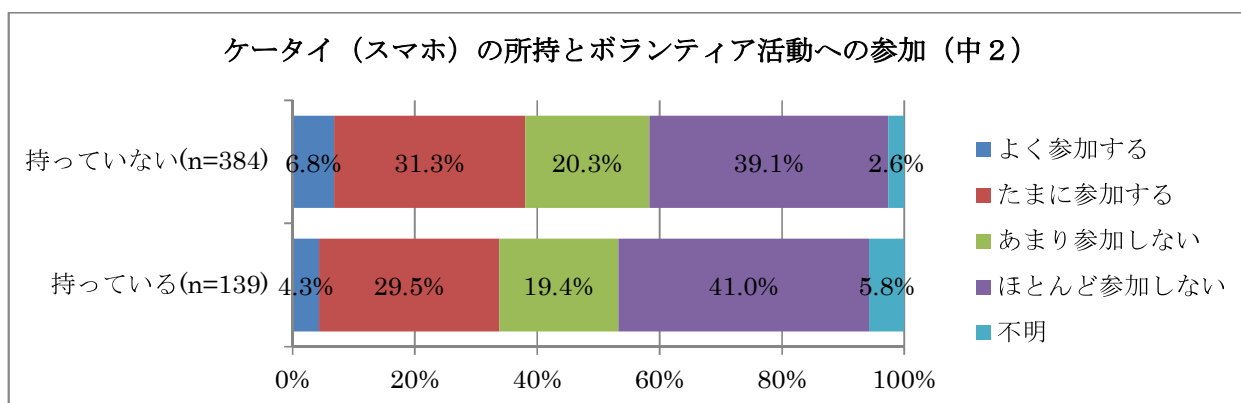
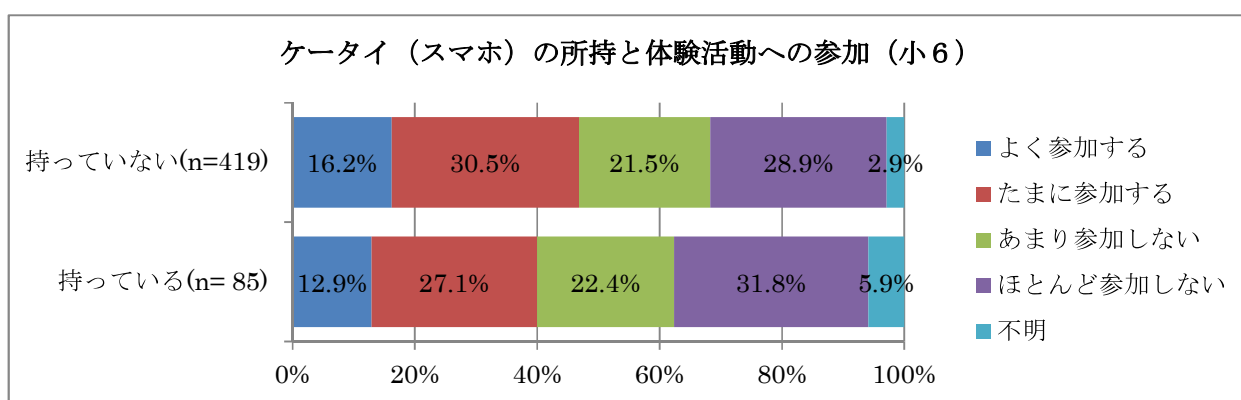
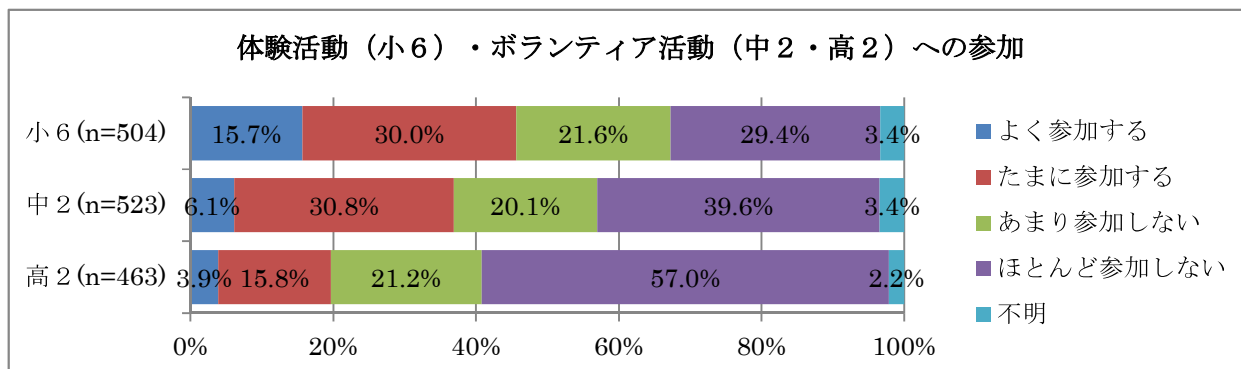
【児童・生徒】 Q40. あなたは、「自分にはよいところがある」と思いますか。



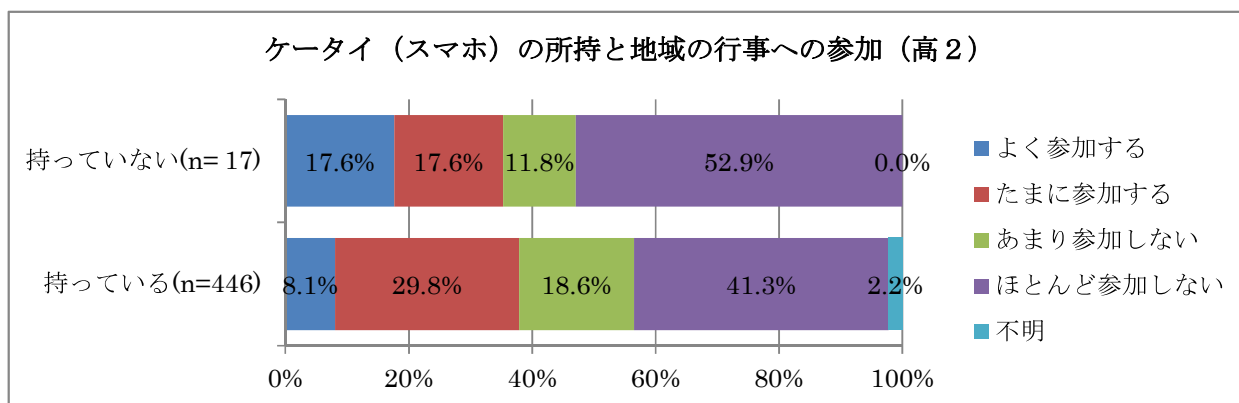
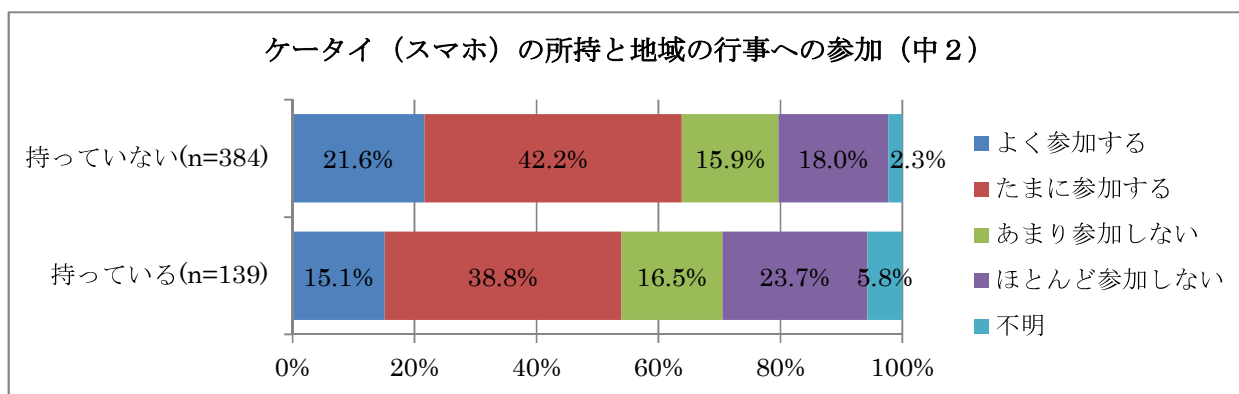
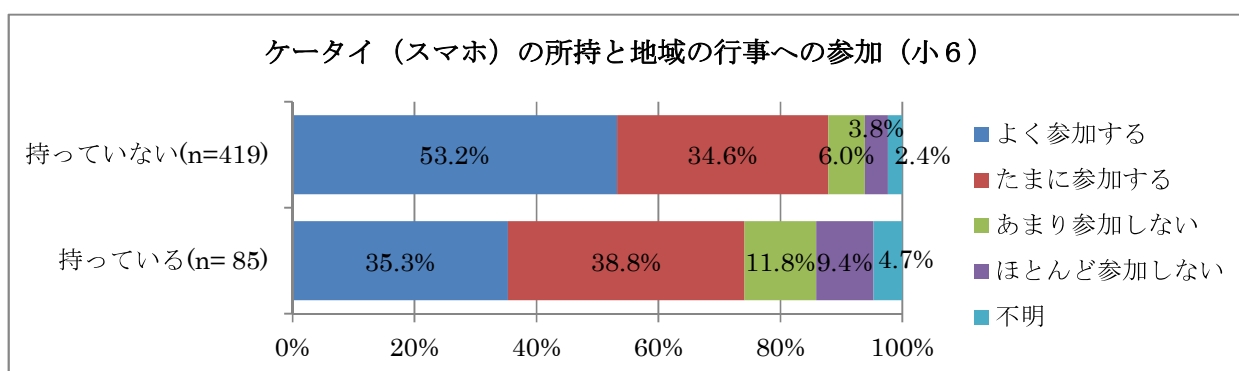
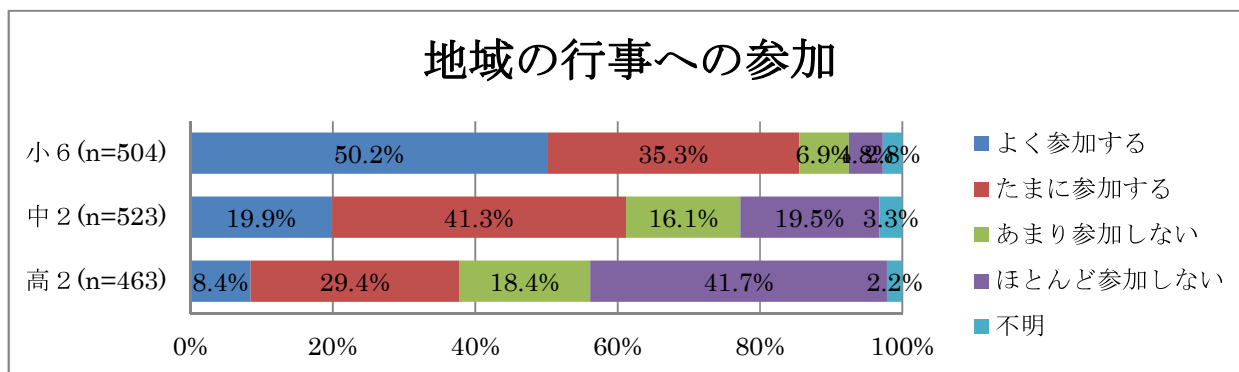
【児童・生徒】Q41. あなたは、将来の夢や希望・目標を持っていますか。



【児童・生徒】Q42. あなたは、地区公民館やいろいろな団体が行うキャンプ・ハイキング・川遊びなどの自然体験活動によく参加しますか。



【児童・生徒】 Q43. あなたは、地域の行事（清掃や祭りなど）によく参加しますか。



<生活習慣・学習習慣・人間関係・自尊感情・将来の夢や希望・体験活動との関係について>

※高2ではケータイ等を所持していない生徒が極めて少ないため、以下では主に小6、中2について考察した。

(生活習慣について)

- ・「1日のテレビ視聴時間」「家の人へのあいさつ」「家の人との会話」については、ケータイ（スマホ）の所持・不所持との関係は特に見受けられない。
- ・「1日の睡眠時間」は、特に小6で影響が顕著に現れている。7時間以上の睡眠をとっている児童は、所持していない者が83.3%であるのに対し、所持している者は65.9%と大きな差が生じている。
- ・食の摂取は、小6では朝食を「毎日食べる」児童は、所持していない者が92.1%であるのに対し、所持している者は84.7%となっており、睡眠時間の差が朝食の摂取にも影響しているものと考えられる。

(学習習慣について)

- ・学習習慣についての質問（「学校は楽しいか」「授業にやる気を持って取り組んでいるか」「学校の授業が十分理解できているか」「家庭学習にやる気を持って取り組んでいるか」「1日の読書時間」）では、ケータイ（スマホ）を所持していない児童生徒の方が、所持している児童生徒よりも概ね肯定的な回答をしている。
- ・特に中2の「授業の理解度」については、「理解できている」と回答した生徒が、ケータイ（スマホ）を所持していない者が71.3%だったのに対し、所持している者は51.0%であり、20.3ポイントもの差が生じている。

(人間関係)

- ・ケータイ（スマホ）の所持・不所持で大きな差は見られなかった。
- ・所持しているかどうかに関わらず、全体的な傾向として、「友だちとの会話や何かを一緒にすることを楽しい」と回答した児童生徒が全体の約96%であるのに対し、「悩み事を友だちに相談する」と回答した児童生徒が5割程度にとどまっている等、友だち関係が表面的な関係に終わっており、親密な関係にまで至っていないことがうかがえる。

(自尊感情、将来の夢や希望)

- ・ケータイ（スマホ）の所持・不所持で大きな差は見られなかった。
- ・全体的な傾向としては、小6では肯定的回答が多く、中2でいったん下がるが、高2でやや持ち直している状況である。

(ボランティア・自然体験活動、地域活動への参加)

- ・いずれも、ケータイ（スマホ）を所持していない児童生徒の方が、所持している児童生徒よりも肯定的な回答をしている。
- ・特に、小6の地域の行事への参加については顕著な差がでており、「よく参加する」は、所持していない者が53.2%なのに対し、所持している者が35.3%と、17.9ポイントという大きな差が現れている。

★ケータイ（スマホ）の所持・不所持が、児童生徒の基本的な生活習慣や学習習慣、社会体験の有無に影響を及ぼしていることが推察される。